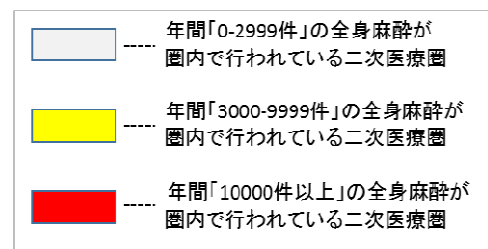
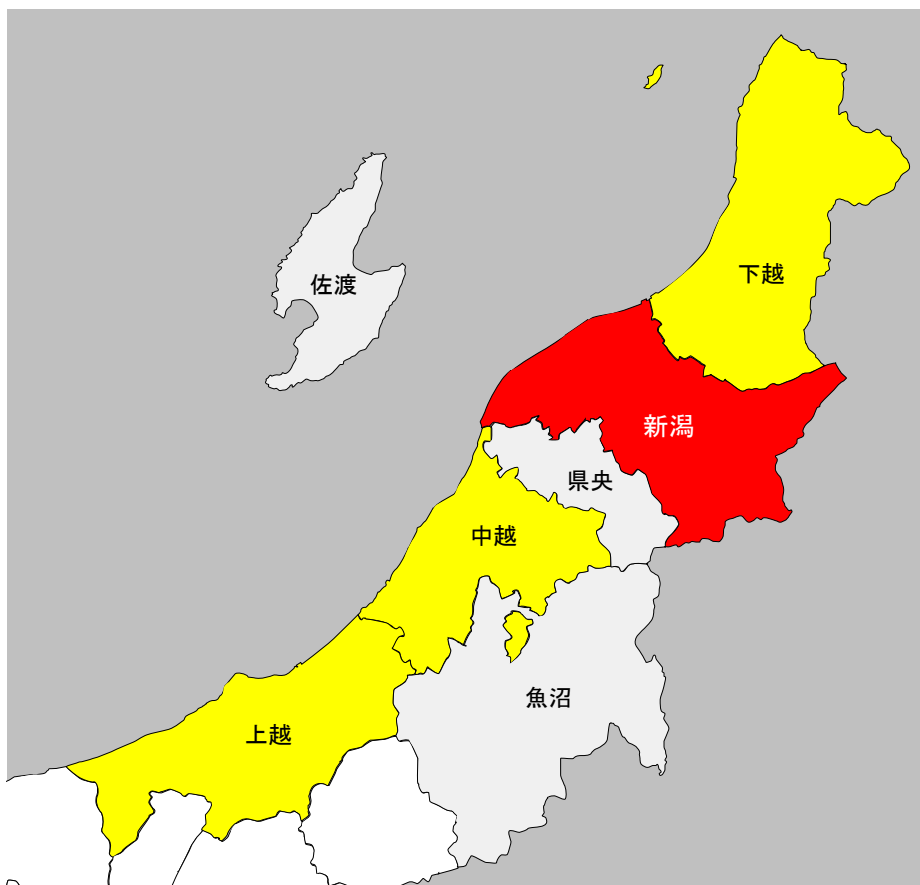


15. 新潟県



(注) 魚沼市は、平成25年の医療圏組み換え時に中越医療圏となったが、上の地図には反映されていない。

目次

新潟県	15	-	3
1. 下越医療圏	15	-	9
2. 新潟医療圏	15	-	15
3. 県央医療圏	15	-	21
4. 中越医療圏	15	-	27
5. 魚沼医療圏	15	-	33
6. 上越医療圏	15	-	39
7. 佐渡医療圏	15	-	45

新潟県

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は184,100人(-7%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は562人(15%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は190人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は24%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

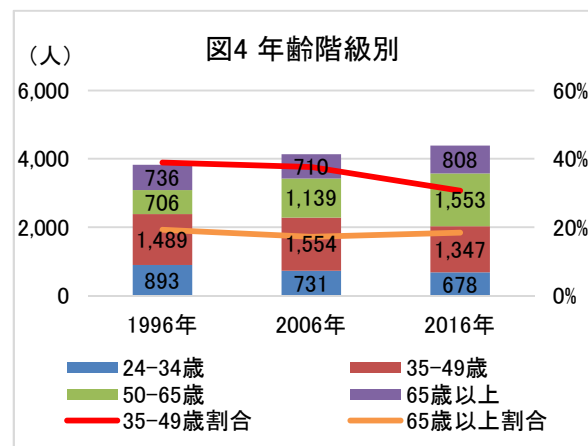
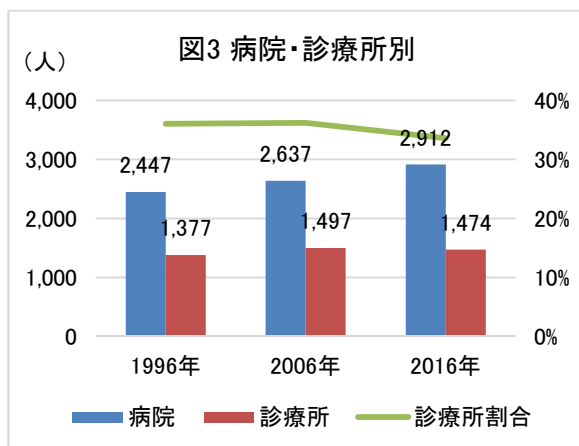
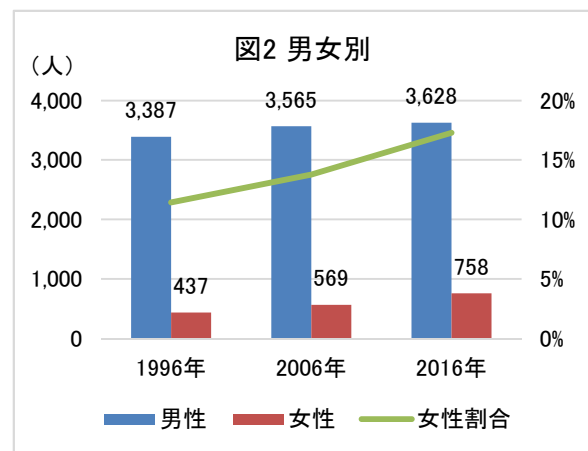
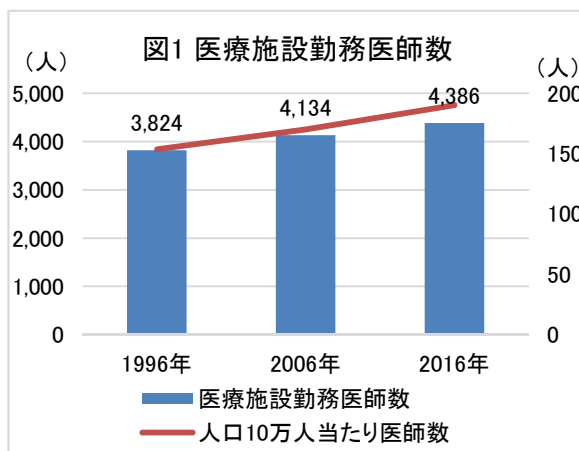
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて241人(7%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に321人(73%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は17%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて465人(19%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に97人(7%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は34%と、全国平均(34%)と同程度である。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は142人(-10%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて72人(10%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年19%、2016年18%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

新潟県

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	2,488,364	2,431,459	2,304,264	-184,100	-7%	-56,905	-2%	-127,195	-5%	
総医師数	4,047	4,478	4,698	651	16%	431	11%	220	5%	
人口10万対	162.6	184.2	203.9	41.2	25%	21.5	13%	19.7	11%	
医療施設勤務医師数	3,824	4,134	4,386	562	15%	310	8%	252	6%	
人口10万対	153.7	170.0	190.3	36.7	24%	16.3	11%	20.3	12%	
男性医師数	3,387	3,565	3,628	241	7%	178	5%	63	2%	
人口10万対	136.1	146.6	157.4	21.3	16%	10.5	8%	10.8	7%	
女性医師数	437	569	758	321	73%	132	30%	189	33%	
人口10万対	17.6	23.4	32.9	15.3	87%	5.8	33%	9.5	41%	
病院勤務医師数	2,447	2,637	2,912	465	19%	190	8%	275	10%	
人口10万対	98.3	108.5	126.4	28.0	29%	10.1	10%	17.9	17%	
診療所勤務医師数	1,377	1,497	1,474	97	7%	120	9%	-23	-2%	
人口10万対	55.3	61.6	64.0	8.6	16%	6.2	11%	2.4	4%	
医療施設勤務医 平均年齢	48.1	49.8	51.7	3.5	7%	1.6	3%	1.9	4%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	893	731	678	-215	-24%	-162	-18%	-53	-7%
	35-49歳	1,489	1,554	1,347	-142	-10%	65	4%	-207	-13%
	50-64歳	706	1,139	1,553	847	120%	433	61%	414	36%
	65歳以上	736	710	808	72	10%	-26	-4%	98	14%
	75歳以上(再掲)	203	323	284	81	40%	120	59%	-39	-12%
男性	24-34歳	726	539	489	-237	-33%	-187	-26%	-50	-9%
	35-49歳	1,326	1,337	1,035	-291	-22%	11	1%	-302	-23%
	50-64歳	654	1,026	1,371	717	110%	372	57%	345	34%
	65歳以上	681	663	733	52	8%	-18	-3%	70	11%
	75歳以上(再掲)	182	299	263	81	45%	117	64%	-36	-12%
女性	24-34歳	167	192	189	22	13%	25	15%	-3	-2%
	35-49歳	163	217	312	149	91%	54	33%	95	44%
	50-64歳	52	113	182	130	250%	61	117%	69	61%
	65歳以上	55	47	75	20	36%	-8	-15%	28	60%
	75歳以上(再掲)	21	24	21	0	0%	3	14%	-3	-13%
病院	24-34歳	876	724	674	-202	-23%	-152	-17%	-50	-7%
	35-49歳	1,131	1,167	1,117	-14	-1%	36	3%	-50	-4%
	50-64歳	312	544	837	525	168%	232	74%	293	54%
	65歳以上	128	202	284	156	122%	74	58%	82	41%
	75歳以上(再掲)	26	60	86	60	231%	34	131%	26	43%
診療所	24-34歳	17	7	4	-13	-76%	-10	-59%	-3	-43%
	35-49歳	358	387	230	-128	-36%	29	8%	-157	-41%
	50-64歳	394	595	716	322	82%	201	51%	121	20%
	65歳以上	608	508	524	-84	-14%	-100	-16%	16	3%
	75歳以上(再掲)	177	263	198	21	12%	86	49%	-65	-25%
	85歳以上(再掲)	30	29	61	31	103%	-1	-3%	32	110%

新潟県

＜医師数の推移＞

新潟県において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、精神科、外科(総数)、形成外科、眼科、泌尿器科、麻酔科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、形成外科、リハビリテーション科、麻酔科、救急科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	3,824	153.7	46	4,134	170.0	45	4,386	190.3	44	562	15%	36.7	24%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	1,666	67.0	48	1,739	71.5	48	1,772	76.9	46	106	6%	9.9	15%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	245	9.8	47	251	10.3	47	267	11.6	47	22	9%	1.7	18%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	176	7.1	48	200	8.2	47	217	9.4	45	41	23%	2.3	33%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	369	14.8	44	322	13.2	43	300	13.0	42	-69	-19%	-1.8	-12%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	11	0.4	50	14	0.6	51	15	0.7	50	4	36%	0.2	47%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	33	1.3	48	38	1.6	47	48	2.1	48	15	45%	0.8	57%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	122	4.9	52	118	4.9	50	128	5.6	49	6	5%	0.7	13%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	279	11.2	46	311	12.8	46	331	14.4	45	52	19%	3.2	28%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	9	0.4	44	18	0.7	45	26	1.1	44	17	189%	0.8	212%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	125	5.0	49	127	5.2	47	139	6.0	47	14	11%	1.0	20%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	179	7.2	47	185	7.6	45	178	7.7	44	-1	-1%	0.5	7%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	142	5.7	46	133	5.5	45	134	5.8	45	-8	-6%	0.1	2%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	76	3.1	45	83	3.4	44	97	4.2	45	21	28%	1.2	38%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	200	8.0	46	180	7.4	45	188	8.2	45	-12	-6%	0.1	2%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	16	0.6	49	33	1.4	49	31	1.3	46	15	94%	0.7	109%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	61	2.5	47	69	2.8	47	91	3.9	47	30	49%	1.5	61%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	57	2.3	45	67	2.8	44	103	4.5	44	46	81%	2.2	95%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				19	0.8	46	35	1.5	45	16	84%	0.7	94%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				166	6.8	45	183	7.9	44	183	10%	1.1	16%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	58	2.3	45	61	2.5	45	103	4.5	45	45	78%	2.1	92%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

新潟県

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は402,026人(-17%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は272人(6%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は245人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は29%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

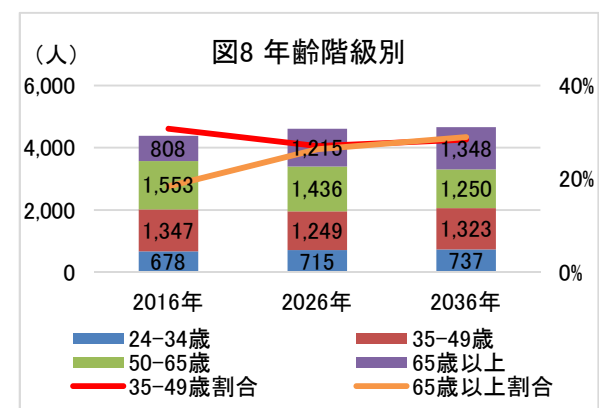
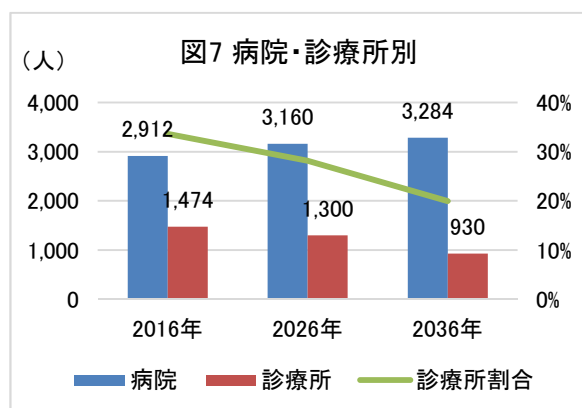
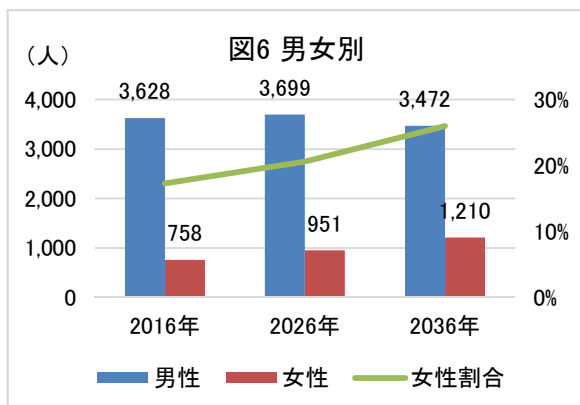
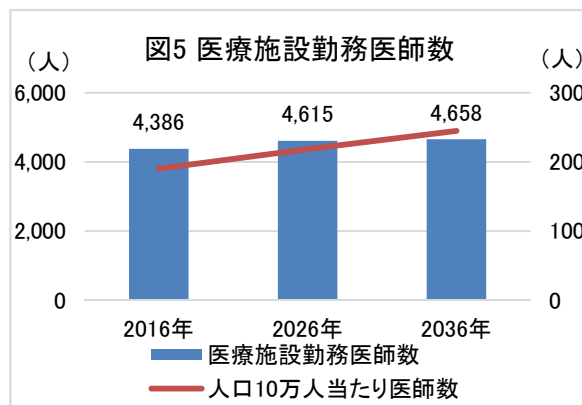
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて156人(-4%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に452人(60%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は26%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて372人(13%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に544人(-37%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は20%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は24人(-2%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて540人(67%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年18%、2036年29%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



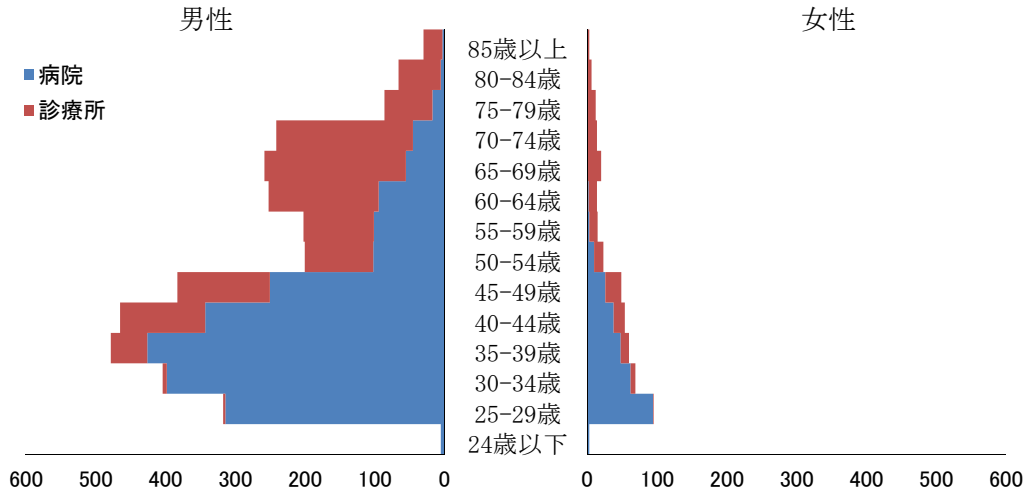
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

新潟県

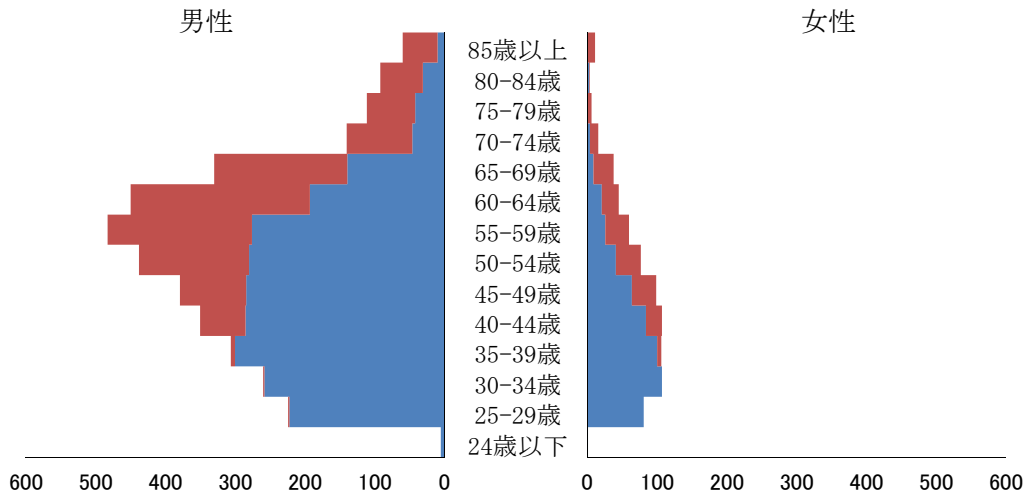
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

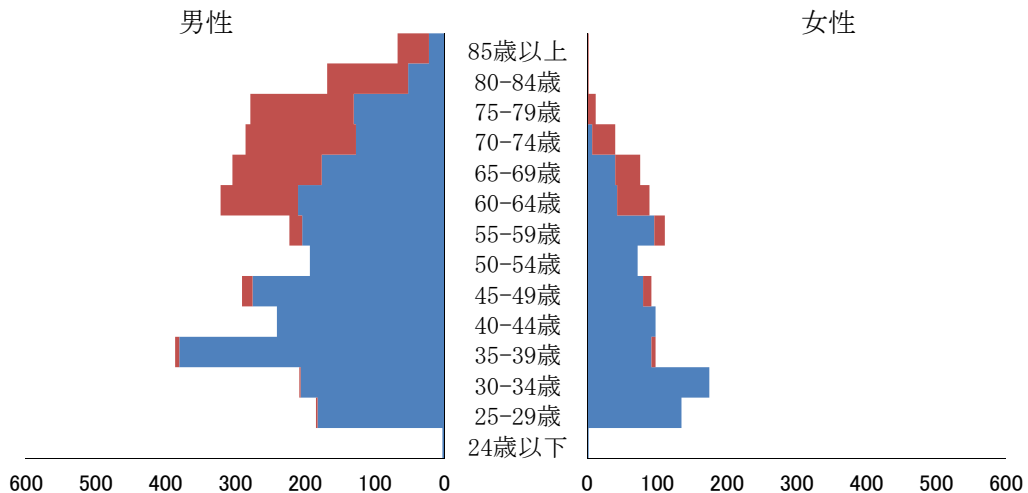
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

新潟県

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	2,304,264	2,112,473	1,902,238	-402,026	-17%	-191,791	-8%	-210,235	-10%	
医療施設勤務医師数	4,386	4,615	4,658	272	6%	229	5%	43	1%	
人口10万対	190.3	218.5	244.9	54.5	29%	28.1	15%	26.4	12%	
男性医師数	3,628	3,699	3,472	-156	-4%	71	2%	-227	-6%	
人口10万対	157.4	175.1	182.5	25.1	16%	17.7	11%	7.4	4%	
女性医師数	758	951	1,210	452	60%	193	25%	259	27%	
人口10万対	32.9	45.0	63.6	30.7	93%	12.1	37%	18.6	41%	
病院勤務医師数	2,912	3,160	3,284	372	13%	248	9%	124	4%	
人口10万対	126.4	149.6	172.6	46.3	37%	23.2	18%	23.1	15%	
診療所勤務医師数	1,474	1,300	930	-544	-37%	-174	-12%	-370	-28%	
人口10万対	64.0	61.5	48.9	-15.1	-24%	-2.4	-4%	-12.6	-21%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	678	715	737	59	9%	37	5%	22	3%
	35-49歳	1,347	1,249	1,323	-24	-2%	-98	-7%	74	6%
	50-64歳	1,553	1,436	1,250	-303	-20%	-117	-8%	-186	-13%
	65歳以上	808	1,215	1,348	540	67%	407	50%	133	11%
	75歳以上(再掲)	284	368	559	275	97%	84	30%	191	52%
男性	24-34歳	489	516	397	-92	-19%	27	6%	-119	-23%
	35-49歳	1,035	934	1,015	-20	-2%	-101	-10%	81	9%
	50-64歳	1,371	1,150	909	-462	-34%	-221	-16%	-241	-21%
	65歳以上	733	1,099	1,151	418	57%	366	50%	52	5%
	75歳以上(再掲)	263	331	504	241	92%	68	26%	173	52%
女性	24-34歳	189	199	309	120	63%	10	5%	110	55%
	35-49歳	312	338	326	14	4%	26	8%	-12	-4%
	50-64歳	182	307	389	207	114%	125	69%	82	27%
	65歳以上	75	107	186	111	148%	32	43%	79	74%
	75歳以上(再掲)	21	25	27	6	29%	4	19%	2	8%
病院	24-34歳	674	710	732	58	9%	36	5%	22	3%
	35-49歳	1,117	1,085	1,155	38	3%	-32	-3%	70	6%
	50-64歳	837	895	819	-18	-2%	58	7%	-76	-8%
	65歳以上	284	470	578	294	104%	186	65%	108	23%
	75歳以上(再掲)	86	131	211	125	145%	45	52%	80	61%
診療所	24-34歳	4	4	4	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	230	40	41	-189	-82%	-190	-83%	1	2%
	50-64歳	716	508	187	-529	-74%	-208	-29%	-321	-63%
	65歳以上	524	748	698	174	33%	224	43%	-50	-7%
	75歳以上(再掲)	198	246	340	142	72%	48	24%	94	38%
	85歳以上(再掲)	61	48	58	-3	-5%	-13	-21%	10	21%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

下越医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は26,586人(-11%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は48人(17%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は154人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は32%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

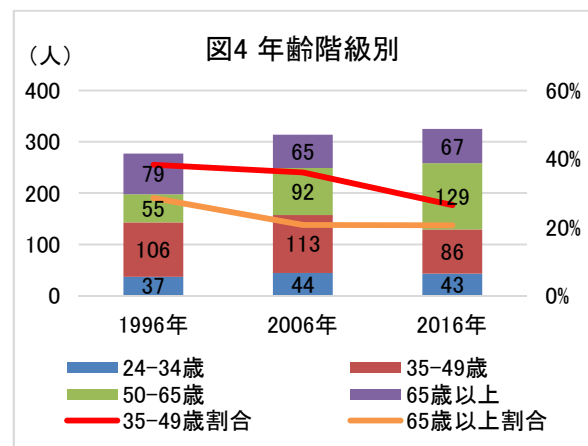
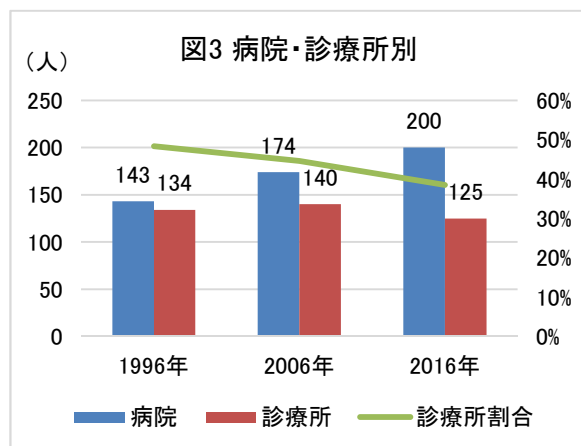
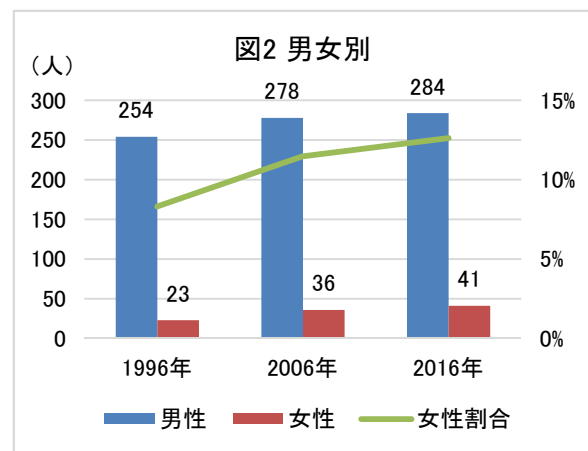
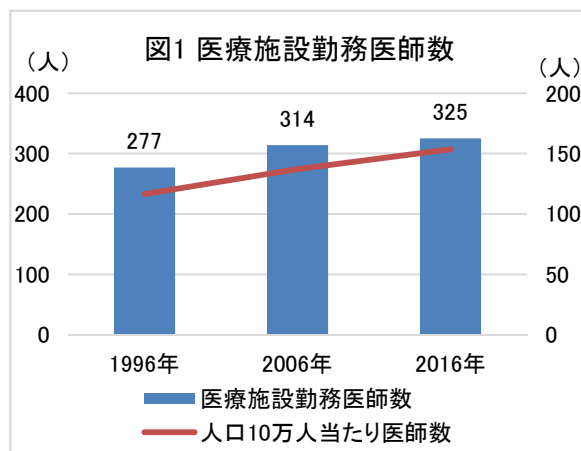
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて30人(12%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に18人(78%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は13%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて57人(40%)増え、全国平均(37%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に9人(-7%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は38%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は20人(-19%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて12人(-15%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年29%、2016年21%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

下越医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	238,079	229,106	211,493	-26,586	-11%	-8,973	-4%	-17,613	-8%	
総医師数	294	339	346	52	18%	45	15%	7	2%	
人口10万対	123.5	148.0	163.6	40.1	32%	24.5	20%	15.6	11%	
医療施設勤務医師数	277	314	325	48	17%	37	13%	11	4%	
人口10万対	116.3	137.1	153.7	37.3	32%	20.7	18%	16.6	12%	
男性医師数	254	278	284	30	12%	24	9%	6	2%	
人口10万対	106.7	121.3	134.3	27.6	26%	14.7	14%	12.9	11%	
女性医師数	23	36	41	18	78%	13	57%	5	14%	
人口10万対	9.7	15.7	19.4	9.7	101%	6.1	63%	3.7	23%	
病院勤務医師数	143	174	200	57	40%	31	22%	26	15%	
人口10万対	60.1	75.9	94.6	34.5	57%	15.9	26%	18.6	25%	
診療所勤務医師数	134	140	125	-9	-7%	6	4%	-15	-11%	
人口10万対	56.3	61.1	59.1	2.8	5%	4.8	9%	-2.0	-3%	
医療施設勤務医 平均年齢	52.6	52.2	53.3	0.6	1%	-0.4	-1%	1.0	2%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	37	44	43	6	16%	7	19%	-1	-2%
	35-49歳	106	113	86	-20	-19%	7	7%	-27	-24%
	50-64歳	55	92	129	74	135%	37	67%	37	40%
	65歳以上	79	65	67	-12	-15%	-14	-18%	2	3%
	75歳以上(再掲)	20	37	25	5	25%	17	85%	-12	-32%
男性	24-34歳	32	35	31	-1	-3%	3	9%	-4	-11%
	35-49歳	94	95	73	-21	-22%	1	1%	-22	-23%
	50-64歳	53	88	117	64	121%	35	66%	29	33%
	65歳以上	75	60	63	-12	-16%	-15	-20%	3	5%
	75歳以上(再掲)	19	34	23	4	21%	15	79%	-11	-32%
女性	24-34歳	5	9	12	7	140%	4	80%	3	33%
	35-49歳	12	18	13	1	8%	6	50%	-5	-28%
	50-64歳	2	4	12	10	500%	2	100%	8	200%
	65歳以上	4	5	4	0	0%	1	25%	-1	-20%
	75歳以上(再掲)	1	3	2	1	100%	2	200%	-1	-33%
病院	24-34歳	35	42	43	8	23%	7	20%	1	2%
	35-49歳	76	72	65	-11	-14%	-4	-5%	-7	-10%
	50-64歳	19	44	61	42	221%	25	132%	17	39%
	65歳以上	13	16	31	18	138%	3	23%	15	94%
	75歳以上(再掲)	3	8	8	5	167%	5	167%	0	0%
診療所	24-34歳	2	2	0	-2	-100%	0	0%	-2	-100%
	35-49歳	30	41	21	-9	-30%	11	37%	-20	-49%
	50-64歳	36	48	68	32	89%	12	33%	20	42%
	65歳以上	66	49	36	-30	-45%	-17	-26%	-13	-27%
	75歳以上(再掲)	17	29	17	0	0%	12	71%	-12	-41%
	85歳以上(再掲)	3	2	5	2	67%	-1	-33%	3	150%

下越医療圏

<医師数の推移>

下越医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、脳神経外科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、放射線科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、小児科、心臓血管外科、麻酔科、臨床研修医である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	277	116.3	42	314	137.1	41	325	153.7	40	48	17%	37.3	32%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	120	50.4	43	142	62.0	44	136	64.3	42	16	13%	13.9	28%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	12	5.0	37	14	6.1	38	19	9.0	42	7	58%	3.9	78%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	15	6.3	46	24	10.5	52	19	9.0	44	4	27%	2.7	43%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	25	10.5	39	24	10.5	39	26	12.3	41	1	4%	1.8	17%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	1	0.4	49	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	1	0.4	42	2	0.9	43	3	1.4	44	2	200%	1.0	238%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	12	5.0	52	11	4.8	50	11	5.2	48	-1	-8%	0.2	3%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	28	11.8	47	25	10.9	42	31	14.7	46	3	11%	2.9	25%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	8	3.4	44	9	3.9	43	11	5.2	45	3	38%	1.8	55%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	8	3.4	39	14	6.1	41	11	5.2	37	3	38%	1.8	55%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	11	4.6	43	7	3.1	38	8	3.8	39	-3	-27%	-0.8	-18%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	6	2.5	43	6	2.6	40	6	2.8	39	0	0%	0.3	13%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	17	7.1	44	17	7.4	45	13	6.1	41	-4	-24%	-1.0	-14%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	2	0.8	52	1	0.4	42	2	0.9	44	0	0%	0.1	13%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	3	1.3	43	3	1.3	42	2	0.9	39	-1	-33%	-0.3	-25%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	2	0.8	40	2	0.9	38	7	3.3	41	5	250%	2.5	294%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				1	0.4	43	1	0.5	40	0	0%	0.0	8%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				10	4.4	42	16	7.6	44	16	60%	3.2	73%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	7	2.9	47	1	0.4	41	3	1.4	40	-4	-57%	-1.5	-52%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

下越医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は49,248人(-23%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は24人(7%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は215人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は40%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

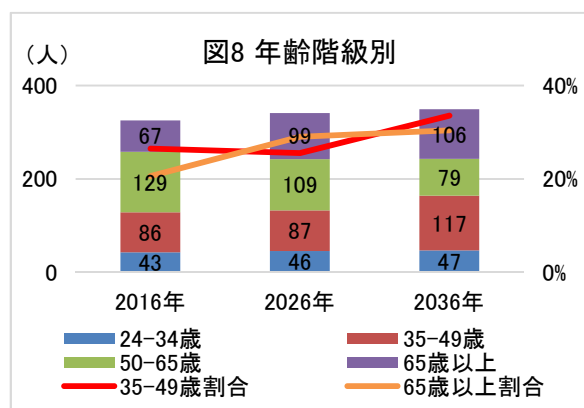
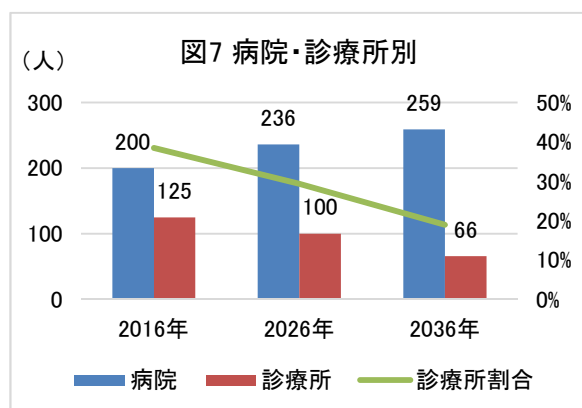
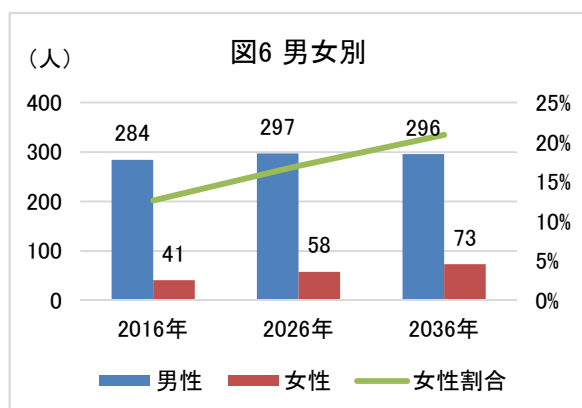
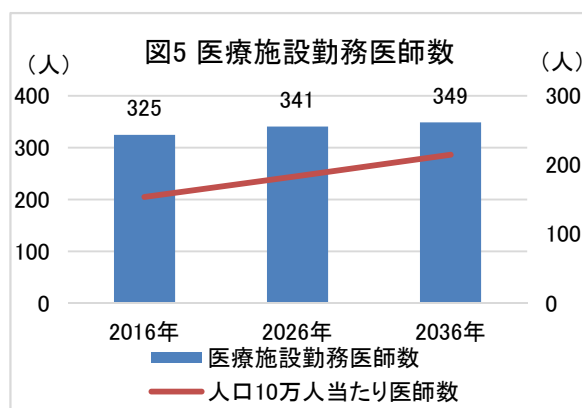
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて12人(4%)増え、全国平均(7%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に32人(78%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は21%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて59人(30%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に59人(-47%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は19%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は31人(36%)増え、全国平均(8%)を上回る増加率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて39人(58%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年21%、2036年30%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



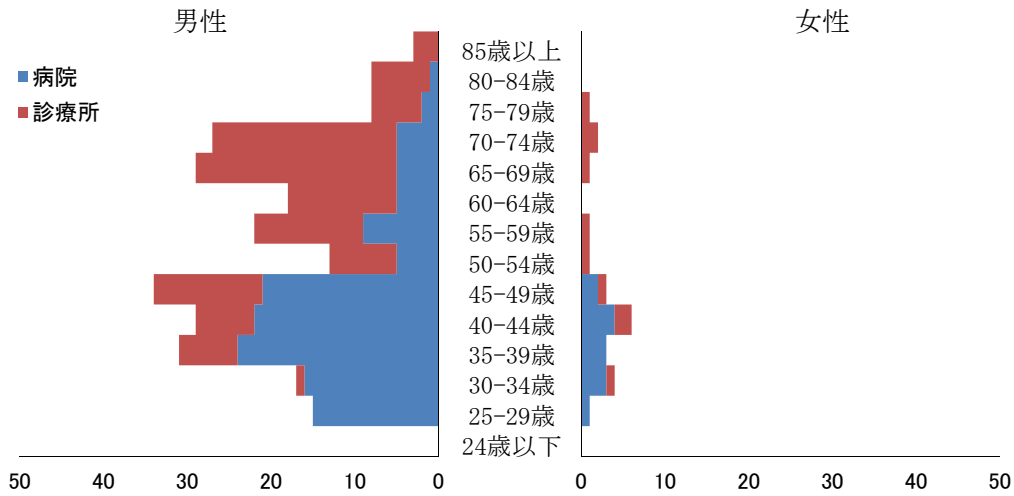
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

下越医療圏

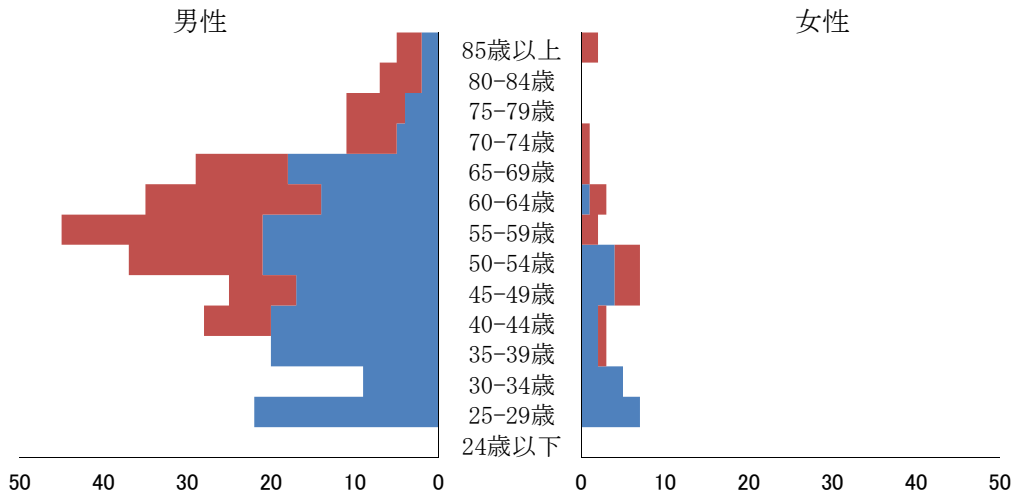
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

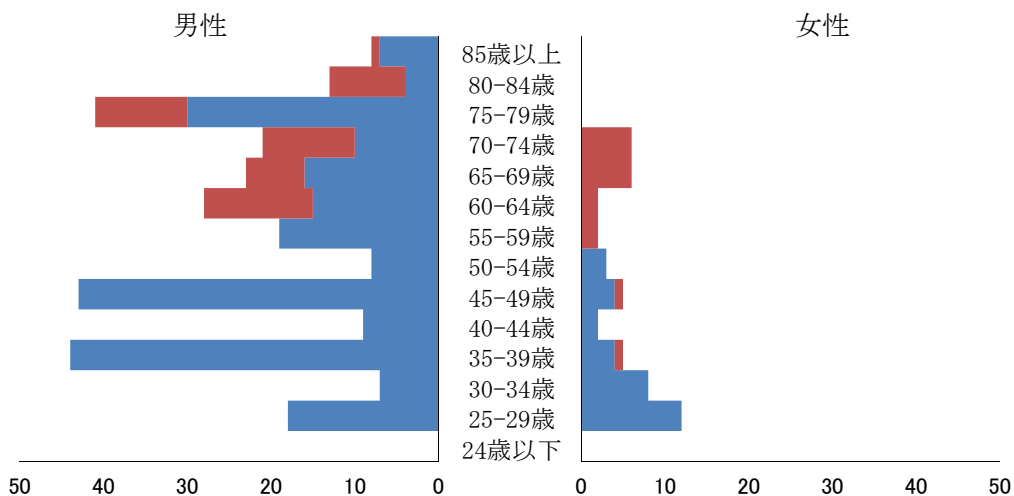
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

下越医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	211,493	185,626	162,245	-49,248	-23%	-25,867	-12%	-23,381	-13%	
医療施設勤務医師数	325	341	349	24	7%	16	5%	8	2%	
人口10万対	153.7	183.7	215.1	61.4	40%	30.0	20%	31.4	17%	
男性医師数	284	297	296	12	4%	13	5%	-1	0%	
人口10万対	134.3	160.0	182.4	48.2	36%	25.7	19%	22.4	14%	
女性医師数	41	58	73	32	78%	17	41%	15	26%	
人口10万対	19.4	31.2	45.0	25.6	132%	11.9	61%	13.7	44%	
病院勤務医師数	200	236	259	59	30%	36	18%	23	10%	
人口10万対	94.6	127.1	159.6	65.1	69%	32.6	34%	32.5	26%	
診療所勤務医師数	125	100	66	-59	-47%	-25	-20%	-34	-34%	
人口10万対	59.1	53.9	40.7	-18.4	-31%	-5.2	-9%	-13.2	-24%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	43	46	47	4	9%	3	7%	1	2%
	35-49歳	86	87	117	31	36%	1	1%	30	34%
	50-64歳	129	109	79	-50	-39%	-20	-16%	-30	-28%
	65歳以上	67	99	106	39	58%	32	48%	7	7%
	75歳以上(再掲)	25	33	50	25	100%	8	32%	17	52%
男性	24-34歳	31	33	25	-6	-19%	2	6%	-8	-24%
	35-49歳	73	77	108	35	48%	4	5%	31	40%
	50-64歳	117	91	69	-48	-41%	-26	-22%	-22	-24%
	65歳以上	63	96	94	31	49%	33	52%	-2	-2%
	75歳以上(再掲)	23	32	50	27	117%	9	39%	18	56%
女性	24-34歳	12	13	20	8	67%	1	8%	7	54%
	35-49歳	13	11	14	1	8%	-2	-15%	3	27%
	50-64歳	12	29	16	4	33%	17	142%	-13	-45%
	65歳以上	4	5	23	19	475%	1	25%	18	360%
	75歳以上(再掲)	2	1	0	-2	-100%	-1	-50%	-1	-100%
病院	24-34歳	43	46	47	4	9%	3	7%	1	2%
	35-49歳	65	78	103	38	58%	13	20%	25	32%
	50-64歳	61	59	48	-13	-21%	-2	-3%	-11	-19%
	65歳以上	31	53	61	30	97%	22	71%	8	15%
	75歳以上(再掲)	8	23	32	24	300%	15	188%	9	39%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	21	3	3	-18	-86%	-18	-86%	0	0%
	50-64歳	68	47	16	-52	-76%	-21	-31%	-31	-66%
	65歳以上	36	50	47	11	31%	14	39%	-3	-6%
	75歳以上(再掲)	17	14	23	6	35%	-3	-18%	9	64%
	85歳以上(再掲)	5	3	2	-3	-60%	-2	-40%	-1	-33%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

新潟医療圏

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は5,768人(-1%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は339人(18%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は246人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は18%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

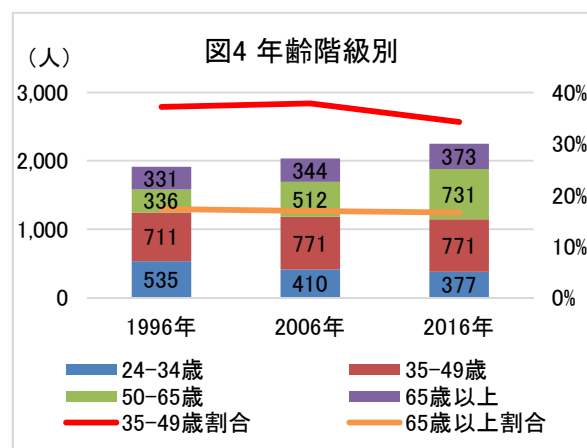
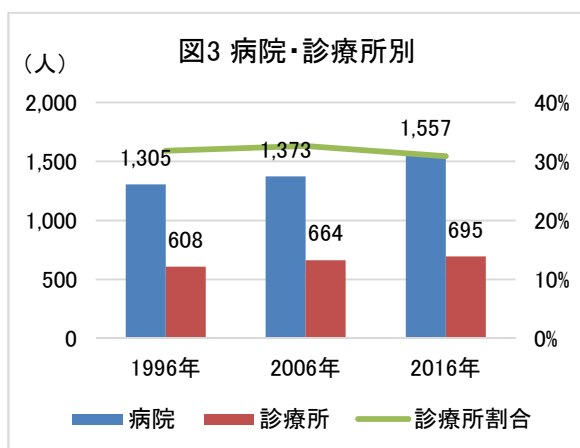
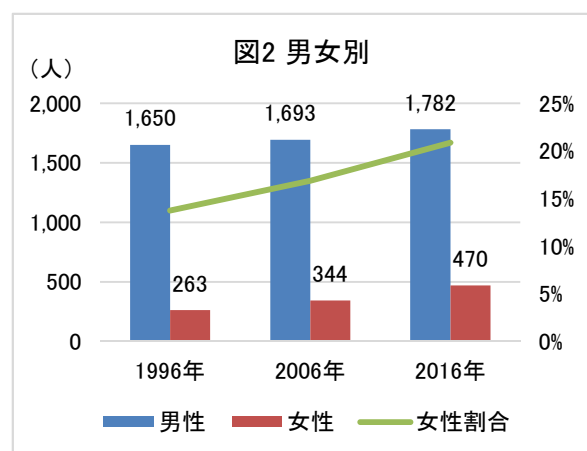
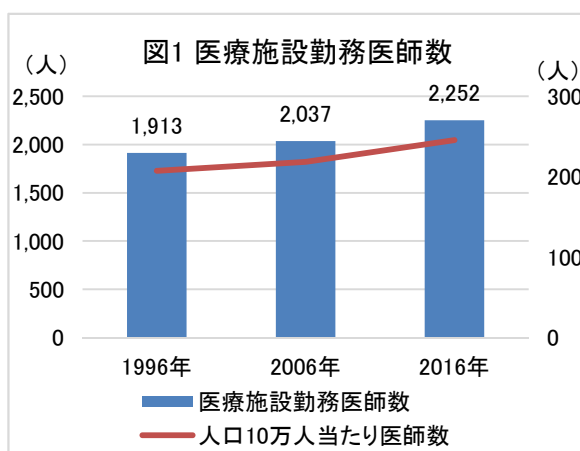
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて132人(8%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に207人(79%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は21%と、全国平均(21%)と同程度である。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて252人(19%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に87人(14%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は31%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は60人(8%)増え、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて42人(13%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年17%、2016年17%と横ばいである。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

新潟医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	922,424	932,555	916,656	-5,768	-1%	10,131	1%	-15,899	-2%	
総医師数	2,068	2,242	2,448	380	18%	174	8%	206	9%	
人口10万対	224.2	240.4	267.1	42.9	19%	16.2	7%	26.6	11%	
医療施設勤務医師数	1,913	2,037	2,252	339	18%	124	6%	215	11%	
人口10万対	207.4	218.4	245.7	38.3	18%	11.0	5%	27.2	12%	
男性医師数	1,650	1,693	1,782	132	8%	43	3%	89	5%	
人口10万対	178.9	181.5	194.4	15.5	9%	2.7	1%	12.9	7%	
女性医師数	263	344	470	207	79%	81	31%	126	37%	
人口10万対	28.5	36.9	51.3	22.8	80%	8.4	29%	14.4	39%	
病院勤務医師数	1,305	1,373	1,557	252	19%	68	5%	184	13%	
人口10万対	141.5	147.2	169.9	28.4	20%	5.8	4%	22.6	15%	
診療所勤務医師数	608	664	695	87	14%	56	9%	31	5%	
人口10万対	65.9	71.2	75.8	9.9	15%	5.3	8%	4.6	6%	
医療施設勤務医 平均年齢	46.7	48.8	50.6	3.9	8%	2.1	5%	1.8	4%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	535	410	377	-158	-30%	-125	-23%	-33	-8%
	35-49歳	711	771	771	60	8%	60	8%	0	0%
	50-64歳	336	512	731	395	118%	176	52%	219	43%
	65歳以上	331	344	373	42	13%	13	4%	29	8%
	75歳以上(再掲)	77	146	142	65	84%	69	90%	-4	-3%
男性	24-34歳	432	289	260	-172	-40%	-143	-33%	-29	-10%
	35-49歳	609	644	562	-47	-8%	35	6%	-82	-13%
	50-64歳	302	439	626	324	107%	137	45%	187	43%
	65歳以上	307	321	334	27	9%	14	5%	13	4%
	75歳以上(再掲)	66	136	135	69	105%	70	106%	-1	-1%
女性	24-34歳	103	121	117	14	14%	18	17%	-4	-3%
	35-49歳	102	127	209	107	105%	25	25%	82	65%
	50-64歳	34	73	105	71	209%	39	115%	32	44%
	65歳以上	24	23	39	15	63%	-1	-4%	16	70%
	75歳以上(再掲)	11	10	7	-4	-36%	-1	-9%	-3	-30%
病院	24-34歳	525	405	375	-150	-29%	-120	-23%	-30	-7%
	35-49歳	556	599	645	89	16%	43	8%	46	8%
	50-64歳	156	263	397	241	154%	107	69%	134	51%
	65歳以上	68	106	140	72	106%	38	56%	34	32%
	75歳以上(再掲)	13	30	51	38	292%	17	131%	21	70%
診療所	24-34歳	10	5	2	-8	-80%	-5	-50%	-3	-60%
	35-49歳	155	172	126	-29	-19%	17	11%	-46	-27%
	50-64歳	180	249	334	154	86%	69	38%	85	34%
	65歳以上	263	238	233	-30	-11%	-25	-10%	-5	-2%
	75歳以上(再掲)	64	116	91	27	42%	52	81%	-25	-22%
	85歳以上(再掲)	10	10	24	14	140%	0	0%	14	140%

新潟医療圏

＜医師数の推移＞

新潟医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、小児外科、皮膚科であり、少ない診療科はない。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、眼科、耳鼻咽喉科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、形成外科、リハビリテーション科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	1,913	207.4	53	2,037	218.4	52	2,252	245.7	51	339	18%	38.3	18%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	827	89.7	54	818	87.7	53	870	94.9	52	43	5%	5.3	6%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	120	13.0	55	121	13.0	53	130	14.2	52	10	8%	1.2	9%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	77	8.3	51	84	9.0	48	102	11.1	48	25	32%	2.8	33%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	179	19.4	49	144	15.4	46	146	15.9	46	-33	-18%	-3.5	-18%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	9	1.0	58	8	0.9	56	10	1.1	57	1	11%	0.1	12%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	20	2.2	54	23	2.5	53	26	2.8	52	6	30%	0.7	31%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	62	6.7	59	51	5.5	53	63	6.9	54	1	2%	0.2	2%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	115	12.5	49	140	15.0	51	164	17.9	52	49	43%	5.4	44%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	5	0.5	46	12	1.3	49	18	2.0	50	13	260%	1.4	262%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	73	7.9	57	74	7.9	56	83	9.1	55	10	14%	1.1	14%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	101	10.9	55	96	10.3	51	100	10.9	51	-1	-1%	-0.0	0%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	78	8.5	54	77	8.3	54	76	8.3	53	-2	-3%	-0.2	-2%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	35	3.8	49	41	4.4	48	51	5.6	50	16	46%	1.8	47%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	99	10.7	52	94	10.1	52	103	11.2	52	4	4%	0.5	5%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	8	0.9	52	18	1.9	54	23	2.5	54	15	188%	1.6	189%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	41	4.4	54	38	4.1	51	58	6.3	53	17	41%	1.9	42%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	37	4.0	50	40	4.3	48	59	6.4	48	22	59%	2.4	60%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				17	1.8	54	25	2.7	51	8	47%	0.9	50%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				96	10.3	49	78	8.5	45	78	-19%	-1.8	-17%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	27	2.9	47	45	4.8	49	67	7.3	50	40	148%	4.4	150%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

新潟医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は131,419人(-14%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は275人(12%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は322人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は31%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

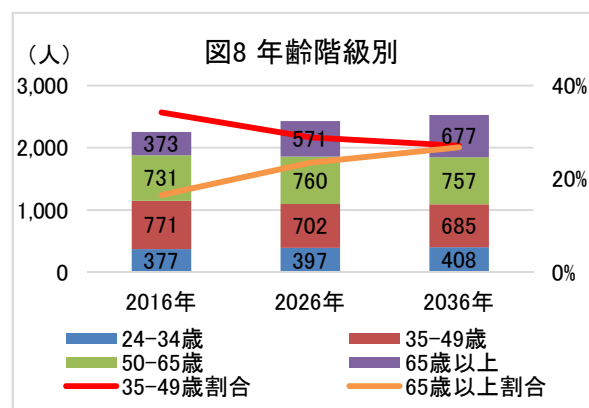
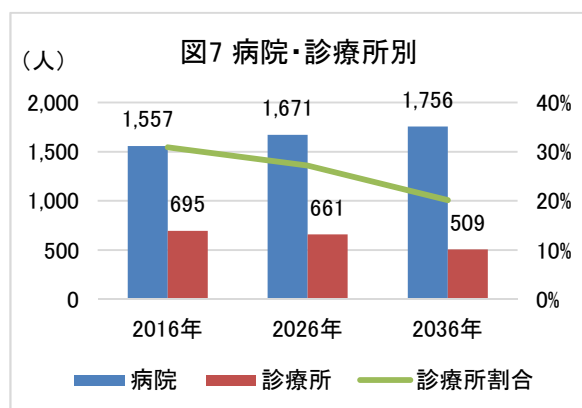
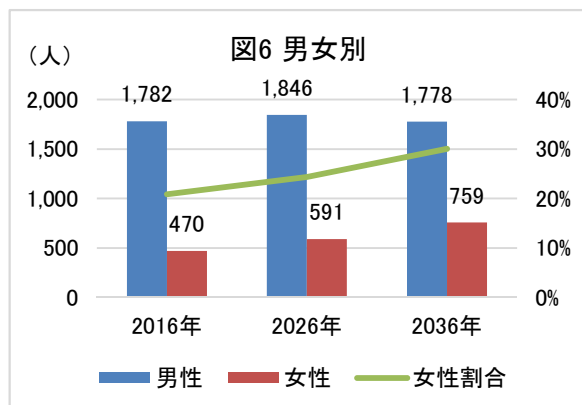
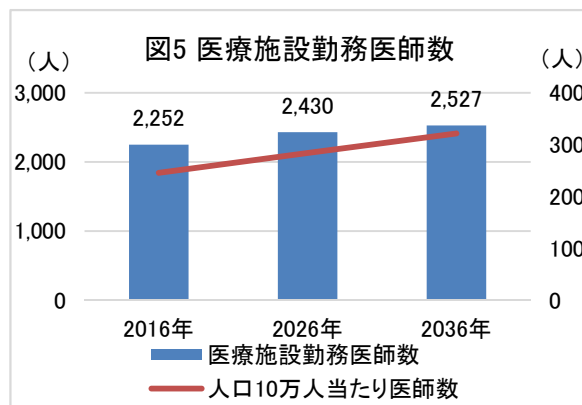
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて4人(0%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に289人(61%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は30%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて199人(13%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に186人(-27%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は20%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は86人(-11%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて304人(82%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年17%、2036年27%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



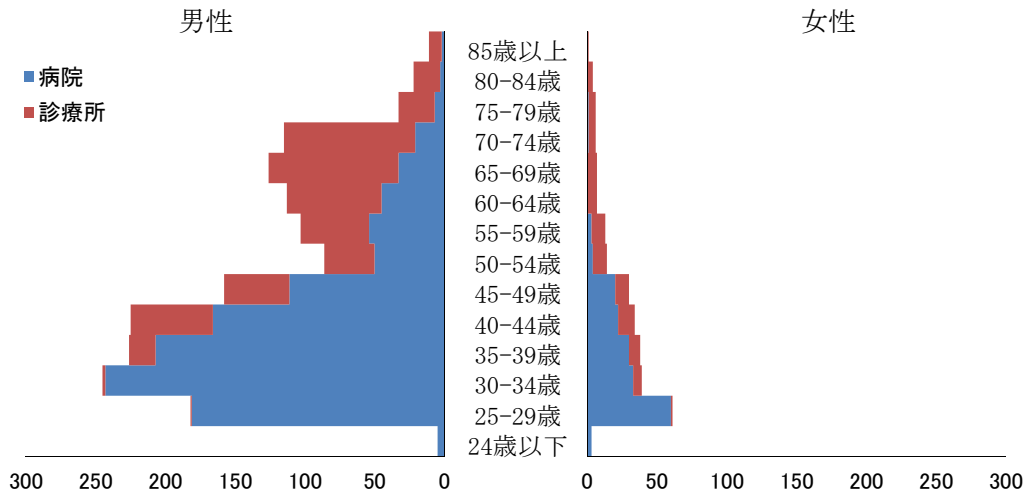
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

新潟医療圏

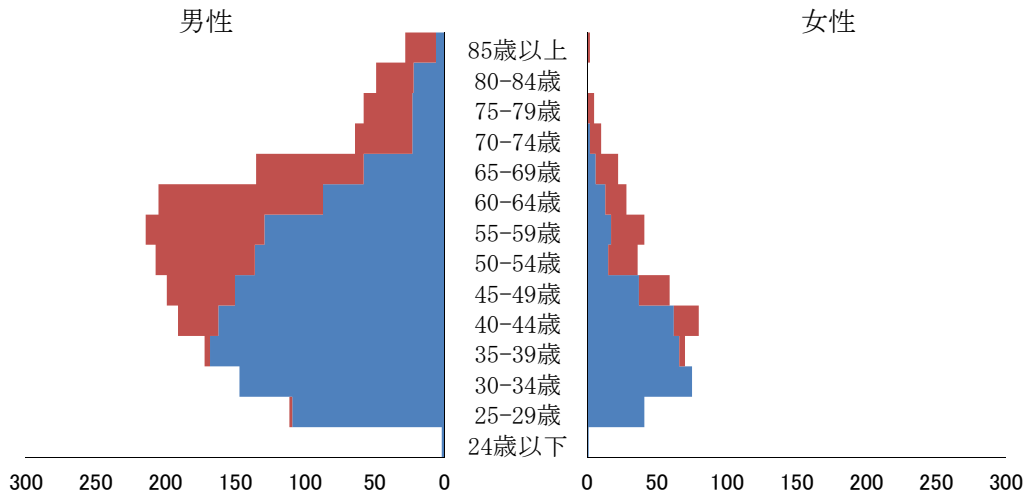
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

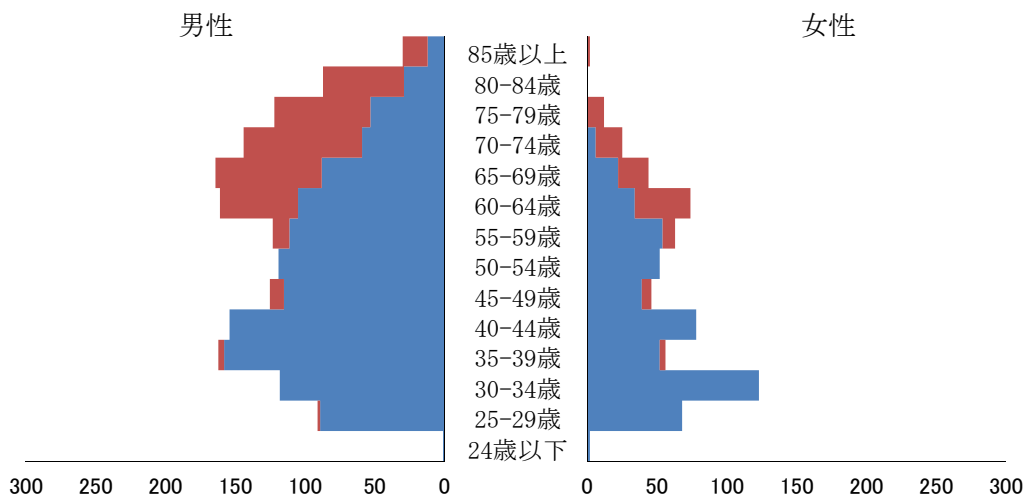
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

新潟医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	916,656	855,268	785,237	-131,419	-14%	-61,388	-7%	-70,031	-8%	
医療施設勤務医師数	2,252	2,430	2,527	275	12%	178	8%	97	4%	
人口10万対	245.7	284.1	321.8	76.1	31%	38.4	16%	37.7	13%	
男性医師数	1,782	1,846	1,778	-4	0%	64	4%	-68	-4%	
人口10万対	194.4	215.8	226.4	32.0	16%	21.4	11%	10.6	5%	
女性医師数	470	591	759	289	61%	121	26%	168	28%	
人口10万対	51.3	69.1	96.7	45.4	89%	17.8	35%	27.6	40%	
病院勤務医師数	1,557	1,671	1,756	199	13%	114	7%	85	5%	
人口10万対	169.9	195.4	223.6	53.8	32%	25.5	15%	28.2	14%	
診療所勤務医師数	695	661	509	-186	-27%	-34	-5%	-152	-23%	
人口10万対	75.8	77.3	64.8	-11.0	-15%	1.5	2%	-12.5	-16%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	377	397	408	31	8%	20	5%	11	3%
	35-49歳	771	702	685	-86	-11%	-69	-9%	-17	-2%
	50-64歳	731	760	757	26	4%	29	4%	-3	0%
	65歳以上	373	571	677	304	82%	198	53%	106	19%
	75歳以上(再掲)	142	164	267	125	88%	22	15%	103	63%
男性	24-34歳	260	274	211	-49	-19%	14	5%	-63	-23%
	35-49歳	562	487	484	-78	-14%	-75	-13%	-3	-1%
	50-64歳	626	580	509	-117	-19%	-46	-7%	-71	-12%
	65歳以上	334	505	574	240	72%	171	51%	69	14%
	75歳以上(再掲)	135	147	239	104	77%	12	9%	92	63%
女性	24-34歳	117	123	192	75	64%	6	5%	69	56%
	35-49歳	209	216	204	-5	-2%	7	3%	-12	-6%
	50-64歳	105	189	269	164	156%	84	80%	80	42%
	65歳以上	39	63	94	55	141%	24	62%	31	49%
	75歳以上(再掲)	7	13	20	13	186%	6	86%	7	54%
病院	24-34歳	375	394	406	31	8%	19	5%	12	3%
	35-49歳	645	604	594	-51	-8%	-41	-6%	-10	-2%
	50-64歳	397	458	478	81	20%	61	15%	20	4%
	65歳以上	140	215	278	138	99%	75	54%	63	29%
	75歳以上(再掲)	51	62	103	52	102%	11	22%	41	66%
診療所	24-34歳	2	2	2	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	126	25	26	-100	-79%	-101	-80%	1	4%
	50-64歳	334	277	115	-219	-66%	-57	-17%	-162	-58%
	65歳以上	233	357	366	133	57%	124	53%	9	3%
	75歳以上(再掲)	91	102	160	69	76%	11	12%	58	57%
	85歳以上(再掲)	24	19	21	-3	-13%	-5	-21%	2	11%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

県央医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は22,216人(-9%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は11人(-4%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は129人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は6%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

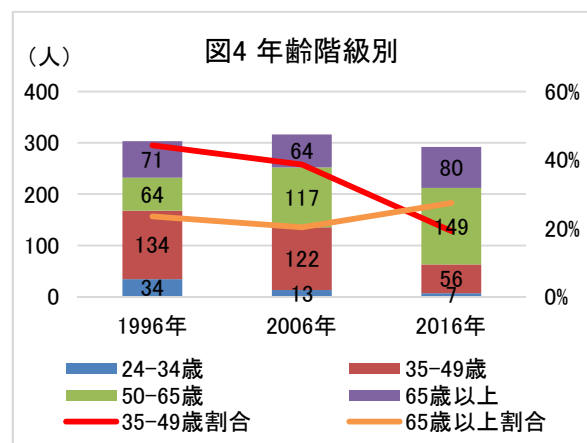
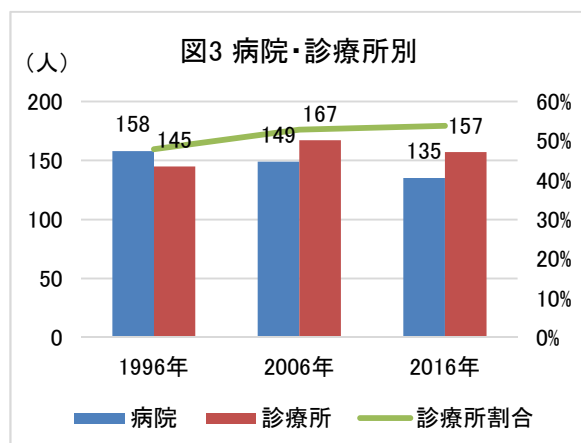
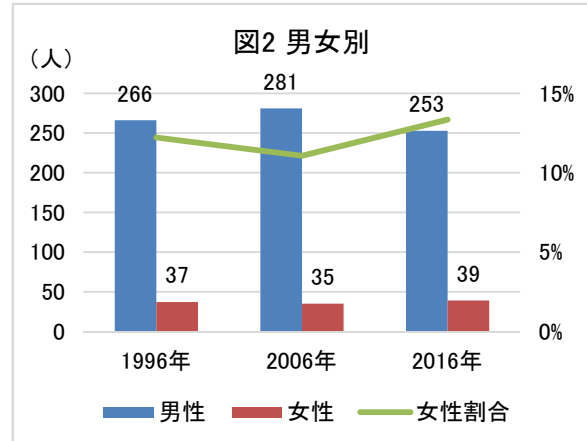
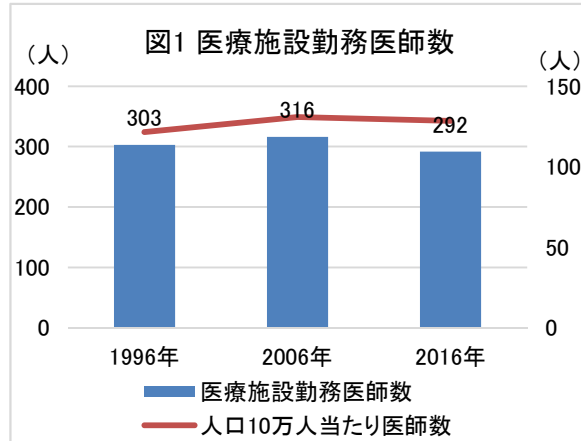
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて13人(-5%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に2人(5%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は13%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて23人(-15%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に12人(8%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は54%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は78人(-58%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて9人(13%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年23%、2016年27%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

県央医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	249,441	241,408	227,225	-22,216	-9%	-8,033	-3%	-14,183	-6%	
総医師数	307	333	308	1	0%	26	8%	-25	-8%	
人口10万対	123.1	137.9	135.5	12.5	10%	14.9	12%	-2.4	-2%	
医療施設勤務医師数	303	316	292	-11	-4%	13	4%	-24	-8%	
人口10万対	121.5	130.9	128.5	7.0	6%	9.4	8%	-2.4	-2%	
男性医師数	266	281	253	-13	-5%	15	6%	-28	-10%	
人口10万対	106.6	116.4	111.3	4.7	4%	9.8	9%	-5.1	-4%	
女性医師数	37	35	39	2	5%	-2	-5%	4	11%	
人口10万対	14.8	14.5	17.2	2.3	16%	-0.3	-2%	2.7	18%	
病院勤務医師数	158	149	135	-23	-15%	-9	-6%	-14	-9%	
人口10万対	63.3	61.7	59.4	-3.9	-6%	-1.6	-3%	-2.3	-4%	
診療所勤務医師数	145	167	157	12	8%	22	15%	-10	-6%	
人口10万対	58.1	69.2	69.1	11.0	19%	11.0	19%	-0.1	0%	
医療施設勤務医 平均年齢	52.1	54.2	58.9	6.8	13%	2.1	4%	4.6	9%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	34	13	7	-27	-79%	-21	-62%	-6	-46%
	35-49歳	134	122	56	-78	-58%	-12	-9%	-66	-54%
	50-64歳	64	117	149	85	133%	53	83%	32	27%
	65歳以上	71	64	80	9	13%	-7	-10%	16	25%
	75歳以上(再掲)	22	31	29	7	32%	9	41%	-2	-6%
男性	24-34歳	27	7	4	-23	-85%	-20	-74%	-3	-43%
	35-49歳	121	110	43	-78	-64%	-11	-9%	-67	-61%
	50-64歳	56	108	136	80	143%	52	93%	28	26%
	65歳以上	62	56	70	8	13%	-6	-10%	14	25%
	75歳以上(再掲)	18	27	24	6	33%	9	50%	-3	-11%
女性	24-34歳	7	6	3	-4	-57%	-1	-14%	-3	-50%
	35-49歳	13	12	13	0	0%	-1	-8%	1	8%
	50-64歳	8	9	13	5	63%	1	13%	4	44%
	65歳以上	9	8	10	1	11%	-1	-11%	2	25%
	75歳以上(再掲)	4	4	5	1	25%	0	0%	1	25%
病院	24-34歳	34	13	6	-28	-82%	-21	-62%	-7	-54%
	35-49歳	94	78	40	-54	-57%	-16	-17%	-38	-49%
	50-64歳	23	50	68	45	196%	27	117%	18	36%
	65歳以上	7	8	21	14	200%	1	14%	13	163%
	75歳以上(再掲)	2	0	6	4	200%	-2	-100%	6	
診療所	24-34歳	0	0	1	1		0		1	
	35-49歳	40	44	16	-24	-60%	4	10%	-28	-64%
	50-64歳	41	67	81	40	98%	26	63%	14	21%
	65歳以上	64	56	59	-5	-8%	-8	-13%	3	5%
	75歳以上(再掲)	20	31	23	3	15%	11	55%	-8	-26%
	85歳以上(再掲)	4	4	11	7	175%	0	0%	7	175%

県央医療圏

＜医師数の推移＞

県央医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、小児科、外科(総数)、脳神経外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、放射線科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	303	121.5	42	316	130.9	41	292	128.5	38	-11	-4%	7.0	6%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	124	49.7	42	139	57.6	43	137	60.3	41	13	10%	10.6	21%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	23	9.2	46	26	10.8	48	22	9.7	43	-1	-4%	0.5	5%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	6	2.4	36	9	3.7	37	11	4.8	36	5	83%	2.4	101%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	31	12.4	41	28	11.6	41	22	9.7	37	-9	-29%	-2.7	-22%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	8	3.2	45	10	4.1	47	7	3.1	40	-1	-13%	-0.1	-4%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	38	15.2	54	36	14.9	50	26	11.4	40	-12	-32%	-3.8	-25%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	1	0.4	44	1	0.4	42	1	0.4	40	0	0%	0.0	10%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	9	3.6	45	8	3.3	41	7	3.1	39	-2	-22%	-0.5	-15%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	14	5.6	43	15	6.2	42	14	6.2	40	0	0%	0.5	10%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	14	5.6	46	11	4.6	42	14	6.2	46	0	0%	0.5	10%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	9	3.6	48	8	3.3	43	8	3.5	42	-1	-11%	-0.1	-2%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	19	7.6	45	14	5.8	41	8	3.5	35	-11	-58%	-4.1	-54%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	2	0.8	51	1	0.4	41	2	0.9	43	0	0%	0.1	10%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	2	0.8	42	5	2.1	44	4	1.8	41	2	100%	1.0	120%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	2	0.8	40	2	0.8	38	6	2.6	40	4	200%	1.8	229%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0%	0.0	0%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				1	0.4	37	0	0.0	36	0	-100%	-0.4	-100%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	1	0.4	41	2	0.8	41	3	1.3	39	2	200%	0.9	229%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

県央医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は43,026人(-19%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は113人(-39%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は97人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は-24%減り、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

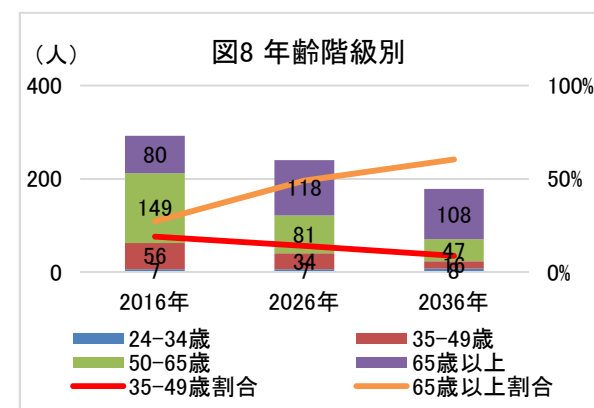
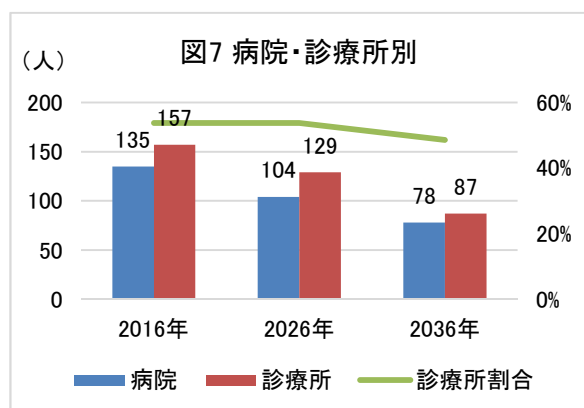
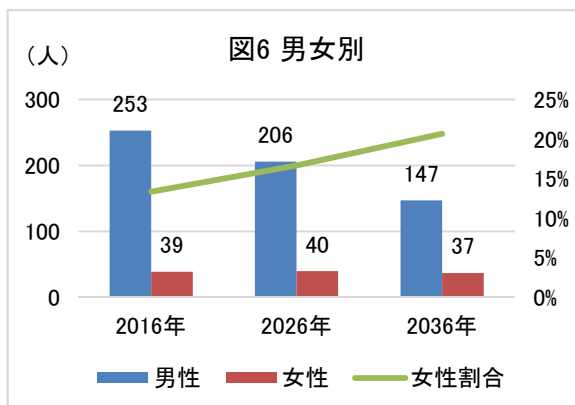
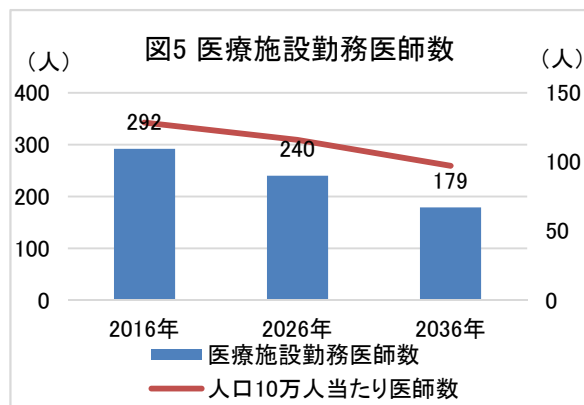
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて106人(-42%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に2人(-5%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は21%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて57人(-42%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に70人(-45%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は49%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は40人(-71%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて28人(35%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年27%、2036年60%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



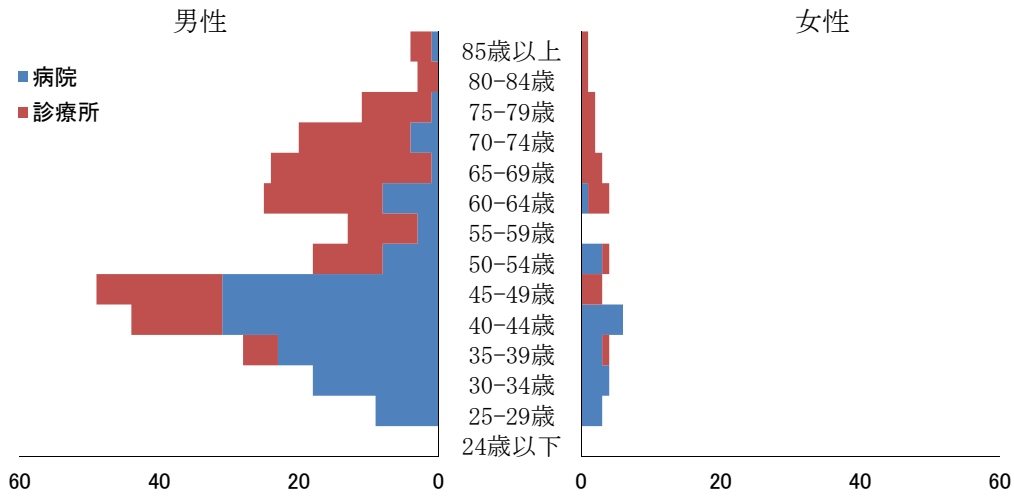
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

県央医療圏

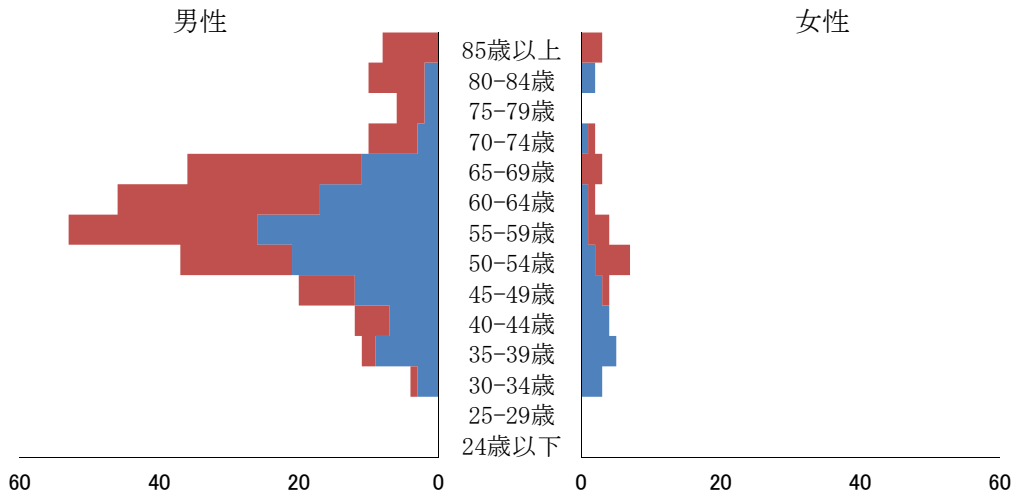
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

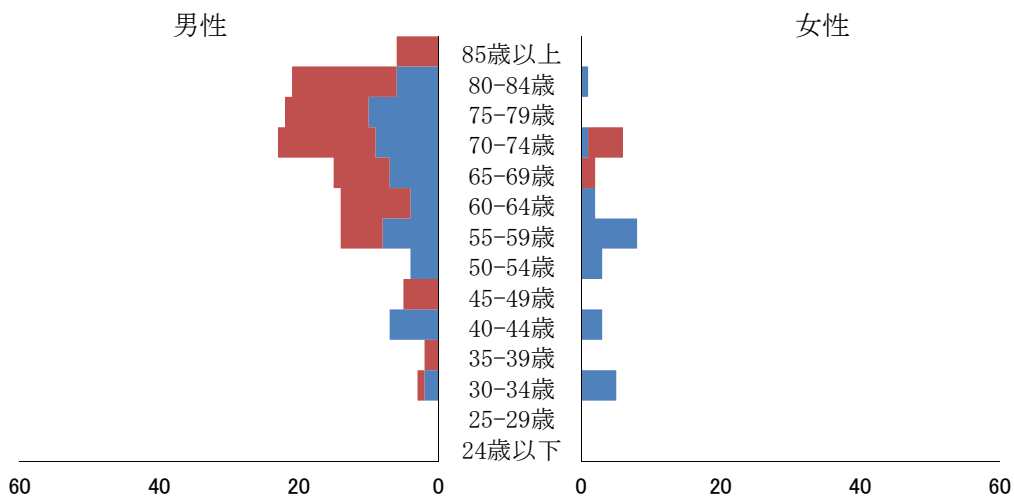
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

県央医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	227,225	207,003	184,199	-43,026	-19%	-20,222	-9%	-22,804	-11%	
医療施設勤務医師数	292	240	179	-113	-39%	-52	-18%	-61	-25%	
人口10万対	128.5	115.9	97.2	-31.3	-24%	-12.6	-10%	-18.8	-16%	
男性医師数	253	206	147	-106	-42%	-47	-19%	-59	-29%	
人口10万対	111.3	99.5	79.8	-31.5	-28%	-11.8	-11%	-19.7	-20%	
女性医師数	39	40	37	-2	-5%	1	3%	-3	-8%	
人口10万対	17.2	19.3	20.1	2.9	17%	2.2	13%	0.8	4%	
病院勤務医師数	135	104	78	-57	-42%	-31	-23%	-26	-25%	
人口10万対	59.4	50.2	42.3	-17.1	-29%	-9.2	-15%	-7.9	-16%	
診療所勤務医師数	157	129	87	-70	-45%	-28	-18%	-42	-33%	
人口10万対	69.1	62.3	47.2	-21.9	-32%	-6.8	-10%	-15.1	-24%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	7	7	8	1	14%	0	0%	1	14%
	35-49歳	56	34	16	-40	-71%	-22	-39%	-18	-53%
	50-64歳	149	81	47	-102	-68%	-68	-46%	-34	-42%
	65歳以上	80	118	108	28	35%	38	48%	-10	-8%
	75歳以上(再掲)	29	37	57	28	97%	8	28%	20	54%
男性	24-34歳	4	4	3	-1	-25%	0	0%	-1	-25%
	35-49歳	43	28	16	-27	-63%	-15	-35%	-12	-43%
	50-64歳	136	68	37	-99	-73%	-68	-50%	-31	-46%
	65歳以上	70	106	91	21	30%	36	51%	-15	-14%
	75歳以上(再掲)	24	31	49	25	104%	7	29%	18	58%
女性	24-34歳	3	3	5	2	67%	0	0%	2	67%
	35-49歳	13	13	3	-10	-77%	0	0%	-10	-77%
	50-64歳	13	14	19	6	46%	1	8%	5	36%
	65歳以上	10	10	10	0	0%	0	0%	0	0%
	75歳以上(再掲)	5	5	1	-4	-80%	0	0%	-4	-80%
病院	24-34歳	6	6	6	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	40	21	10	-30	-75%	-19	-48%	-11	-52%
	50-64歳	68	43	25	-43	-63%	-25	-37%	-18	-42%
	65歳以上	21	34	37	16	76%	13	62%	3	9%
	75歳以上(再掲)	6	10	17	11	183%	4	67%	7	70%
診療所	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	16	8	8	-8	-50%	-8	-50%	0	0%
	50-64歳	81	39	14	-67	-83%	-42	-52%	-25	-64%
	65歳以上	59	81	64	5	8%	22	37%	-17	-21%
	75歳以上(再掲)	23	24	35	12	52%	1	4%	11	46%
	85歳以上(再掲)	11	8	9	-2	-18%	-3	-27%	1	13%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

中越医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は44,471人(-9%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は105人(16%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は169人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は28%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

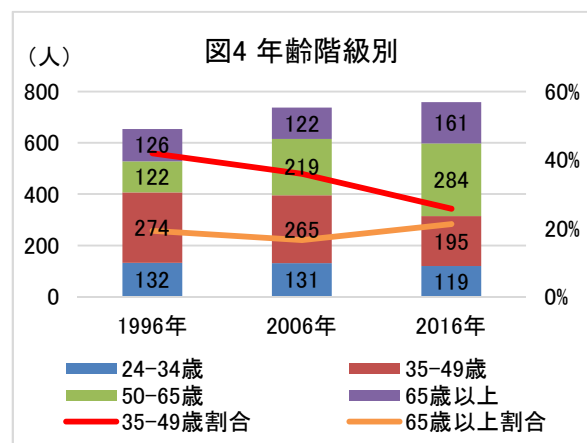
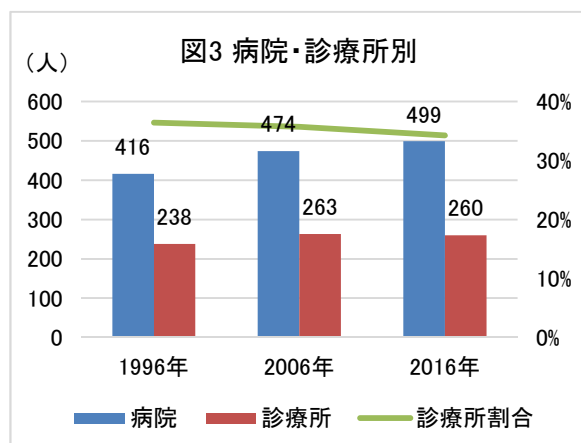
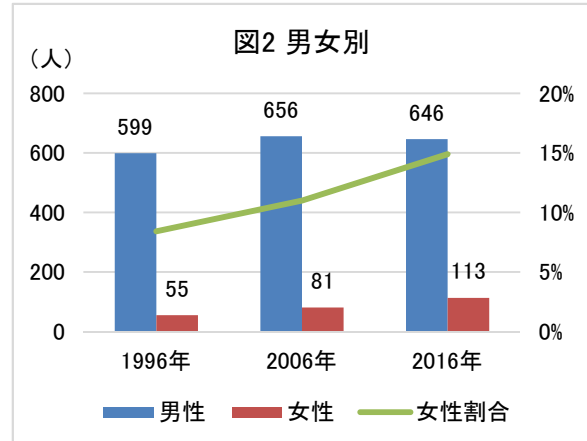
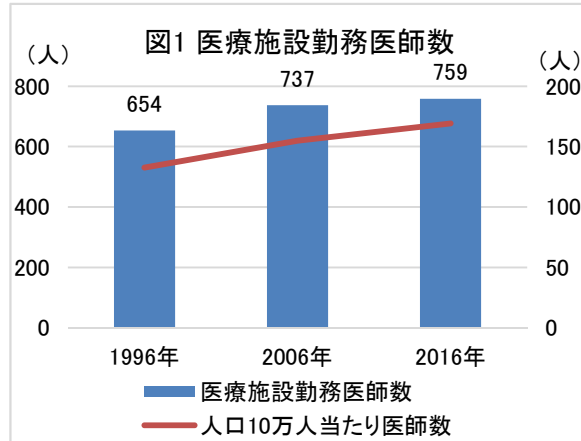
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて47人(8%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に58人(105%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は15%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて83人(20%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に22人(9%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は34%と、全国平均(34%)と同程度である。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は79人(-29%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて35人(28%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年19%、2016年21%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

中越医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	492,846	475,873	448,375	-44,471	-9%	-16,973	-3%	-27,498	-6%	
総医師数	672	785	792	120	18%	113	17%	7	1%	
人口10万対	136.4	165.0	176.6	40.3	30%	28.6	21%	11.7	7%	
医療施設勤務医師数	654	737	759	105	16%	83	13%	22	3%	
人口10万対	132.7	154.9	169.3	36.6	28%	22.2	17%	14.4	9%	
男性医師数	599	656	646	47	8%	57	10%	-10	-2%	
人口10万対	121.5	137.9	144.1	22.5	19%	16.3	13%	6.2	5%	
女性医師数	55	81	113	58	105%	26	47%	32	40%	
人口10万対	11.2	17.0	25.2	14.0	126%	5.9	53%	8.2	48%	
病院勤務医師数	416	474	499	83	20%	58	14%	25	5%	
人口10万対	84.4	99.6	111.3	26.9	32%	15.2	18%	11.7	12%	
診療所勤務医師数	238	263	260	22	9%	25	11%	-3	-1%	
人口10万対	48.3	55.3	58.0	9.7	20%	7.0	14%	2.7	5%	
医療施設勤務医 平均年齢	48.6	50.1	52.7	4.1	8%	1.5	3%	2.6	5%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	132	131	119	-13	-10%	-1	-1%	-12	-9%
	35-49歳	274	265	195	-79	-29%	-9	-3%	-70	-26%
	50-64歳	122	219	284	162	133%	97	80%	65	30%
	65歳以上	126	122	161	35	28%	-4	-3%	39	32%
	75歳以上(再掲)	34	59	53	19	56%	25	74%	-6	-10%
男性	24-34歳	106	101	91	-15	-14%	-5	-5%	-10	-10%
	35-49歳	255	235	151	-104	-41%	-20	-8%	-84	-36%
	50-64歳	120	204	254	134	112%	84	70%	50	25%
	65歳以上	118	116	150	32	27%	-2	-2%	34	29%
	75歳以上(再掲)	30	55	50	20	67%	25	83%	-5	-9%
女性	24-34歳	26	30	28	2	8%	4	15%	-2	-7%
	35-49歳	19	30	44	25	132%	11	58%	14	47%
	50-64歳	2	15	30	28	1400%	13	650%	15	100%
	65歳以上	8	6	11	3	38%	-2	-25%	5	83%
	75歳以上(再掲)	4	4	3	-1	-25%	0	0%	-1	-25%
病院	24-34歳	128	131	119	-9	-7%	3	2%	-12	-9%
	35-49歳	209	204	163	-46	-22%	-5	-2%	-41	-20%
	50-64歳	54	99	164	110	204%	45	83%	65	66%
	65歳以上	25	40	53	28	112%	15	60%	13	33%
	75歳以上(再掲)	3	15	16	13	433%	12	400%	1	7%
診療所	24-34歳	4	0	0	-4	-100%	-4	-100%	0	
	35-49歳	65	61	32	-33	-51%	-4	-6%	-29	-48%
	50-64歳	68	120	120	52	76%	52	76%	0	0%
	65歳以上	101	82	108	7	7%	-19	-19%	26	32%
	75歳以上(再掲)	31	44	37	6	19%	13	42%	-7	-16%
	85歳以上(再掲)	6	7	14	8	133%	1	17%	7	100%

中越医療圏

<医師数の推移>

中越医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、内科(総数)、精神科、外科(総数)、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、麻酔科、救急科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、小児外科、救急科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	654	132.7	44	737	154.9	44	759	169.3	42	105	16%	36.6	28%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	284	57.6	45	299	62.8	45	319	71.1	44	35	12%	13.5	23%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	47	9.5	47	51	10.7	48	56	12.5	48	9	19%	3.0	31%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	40	8.1	50	45	9.5	49	42	9.4	45	2	5%	1.3	15%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	51	10.3	39	53	11.1	40	47	10.5	38	-4	-8%	0.1	1%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	1	0.2	46	3	0.6	52	2	0.4	47	1	100%	0.2	120%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	11	2.2	54	12	2.5	53	11	2.5	50	0	0%	0.2	10%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	18	3.7	47	20	4.2	47	21	4.7	46	3	17%	1.0	28%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	48	9.7	43	55	11.6	43	49	10.9	39	1	2%	1.2	12%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	3	0.6	46	3	0.6	44	4	0.9	43	1	33%	0.3	47%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	22	4.5	47	20	4.2	44	20	4.5	43	-2	-9%	-0.0	0%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	28	5.7	43	29	6.1	41	27	6.0	39	-1	-4%	0.3	6%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	21	4.3	42	18	3.8	40	18	4.0	39	-3	-14%	-0.2	-6%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	14	2.8	44	16	3.4	44	19	4.2	45	5	36%	1.4	49%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	32	6.5	42	27	5.7	41	32	7.1	43	0	0%	0.6	10%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	3	0.6	49	8	1.7	52	1	0.2	39	-2	-67%	-0.4	-63%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	11	2.2	46	13	2.7	46	16	3.6	46	5	45%	1.3	60%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	11	2.2	45	13	2.7	44	14	3.1	41	3	27%	0.9	40%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				1	0.2	42	4	0.9	42	3	300%	0.7	325%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				45	9.5	48	44	9.8	46	44	-2%	0.4	4%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	9	1.8	44	6	1.3	42	13	2.9	42	4	44%	1.1	59%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

中越医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は76,580人(-17%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は25人(-3%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は197人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は17%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

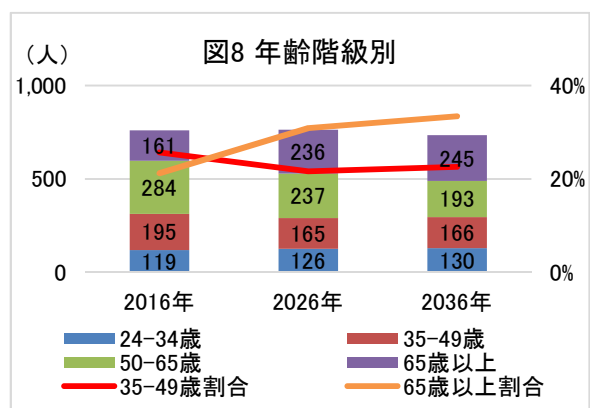
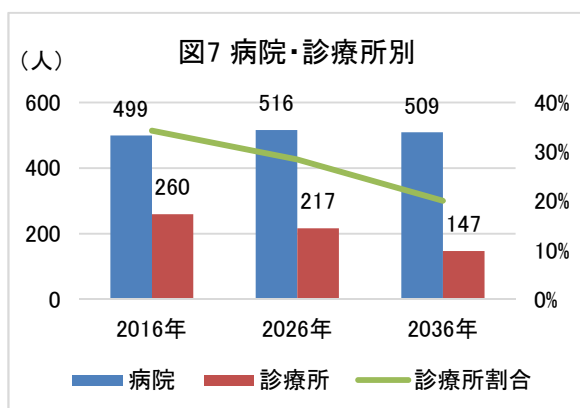
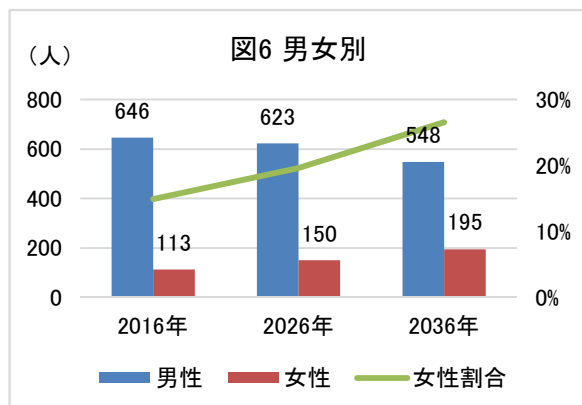
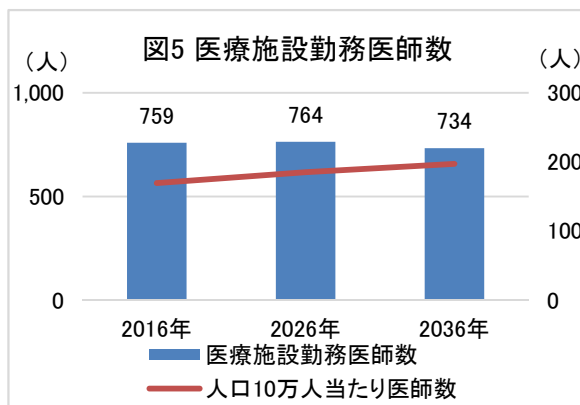
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて98人(-15%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に82人(73%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は27%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて10人(2%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に113人(-43%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は20%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は29人(-15%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて84人(52%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年21%、2036年33%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



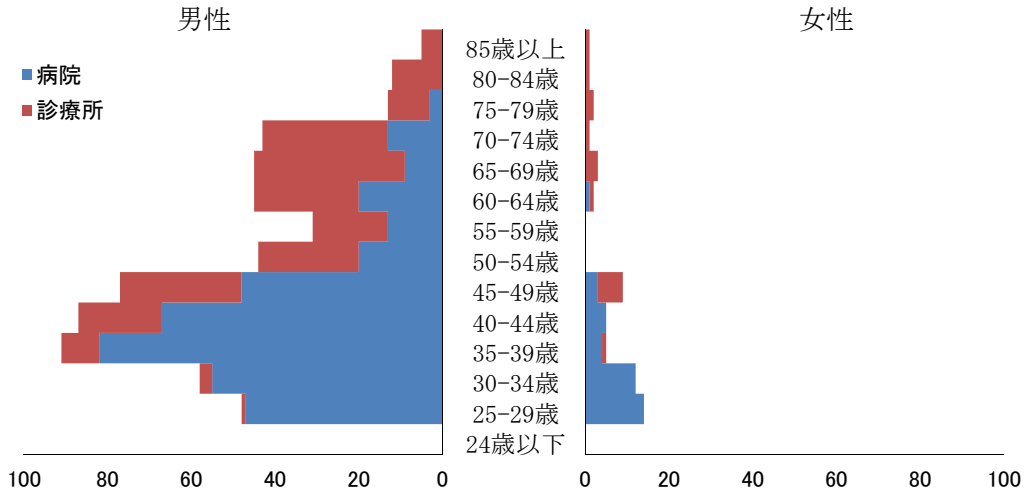
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

中越医療圏

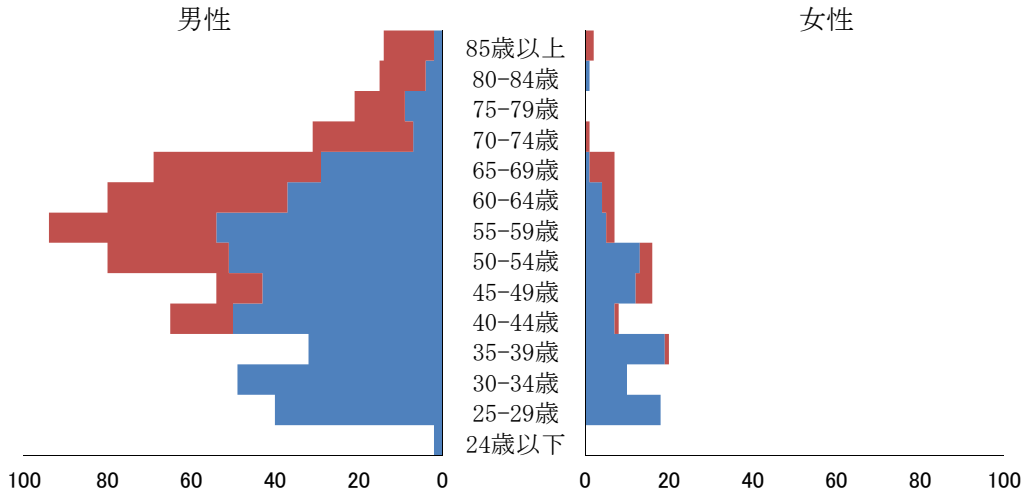
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

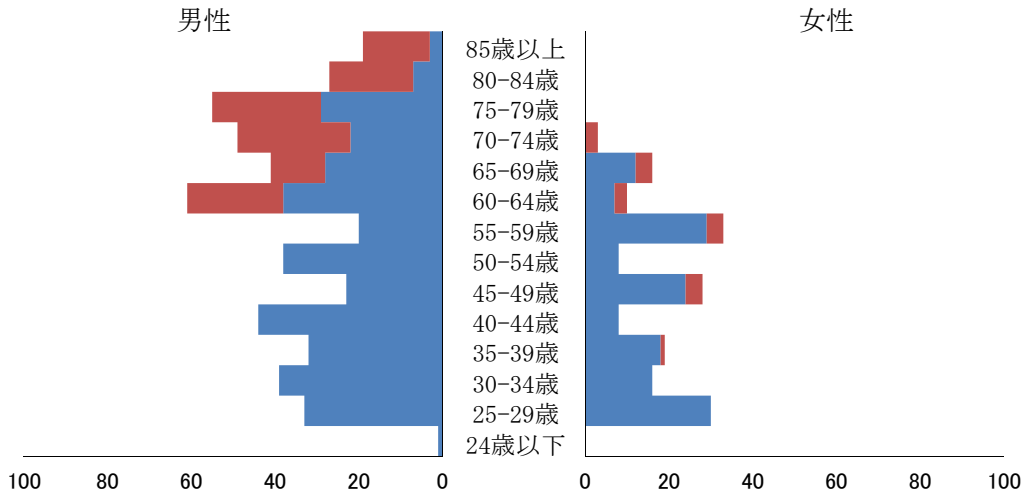
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

中越医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	448,375	412,810	371,795	-76,580	-17%	-35,565	-8%	-41,015	-10%	
医療施設勤務医師数	759	764	734	-25	-3%	5	1%	-30	-4%	
人口10万対	169.3	185.1	197.4	28.1	17%	15.8	9%	12.3	7%	
男性医師数	646	623	548	-98	-15%	-23	-4%	-75	-12%	
人口10万対	144.1	150.9	147.4	3.3	2%	6.8	5%	-3.5	-2%	
女性医師数	113	150	195	82	73%	37	33%	45	30%	
人口10万対	25.2	36.3	52.4	27.2	108%	11.1	44%	16.1	44%	
病院勤務医師数	499	516	509	10	2%	17	3%	-7	-1%	
人口10万対	111.3	125.0	136.9	25.6	23%	13.7	12%	11.9	10%	
診療所勤務医師数	260	217	147	-113	-43%	-43	-17%	-70	-32%	
人口10万対	58.0	52.6	39.5	-18.4	-32%	-5.4	-9%	-13.0	-25%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	119	126	130	11	9%	7	6%	4	3%
	35-49歳	195	165	166	-29	-15%	-30	-15%	1	1%
	50-64歳	284	237	193	-91	-32%	-47	-17%	-44	-19%
	65歳以上	161	236	245	84	52%	75	47%	9	4%
	75歳以上(再掲)	53	83	116	63	119%	30	57%	33	40%
男性	24-34歳	91	96	74	-17	-19%	5	5%	-22	-23%
	35-49歳	151	114	116	-35	-23%	-37	-25%	2	2%
	50-64歳	254	197	150	-104	-41%	-57	-22%	-47	-24%
	65歳以上	150	216	208	58	39%	66	44%	-8	-4%
	75歳以上(再掲)	50	76	105	55	110%	26	52%	29	38%
女性	24-34歳	28	30	46	18	64%	2	7%	16	53%
	35-49歳	44	62	58	14	32%	18	41%	-4	-6%
	50-64歳	30	41	55	25	83%	11	37%	14	34%
	65歳以上	11	17	36	25	227%	6	55%	19	112%
	75歳以上(再掲)	3	3	4	1	33%	0	0%	1	33%
病院	24-34歳	119	126	130	11	9%	7	6%	4	3%
	35-49歳	163	142	142	-21	-13%	-21	-13%	0	0%
	50-64歳	164	154	129	-35	-21%	-10	-6%	-25	-16%
	65歳以上	53	94	108	55	104%	41	77%	14	15%
	75歳以上(再掲)	16	26	44	28	175%	10	63%	18	69%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	32	4	4	-28	-88%	-28	-88%	0	0%
	50-64歳	120	77	29	-91	-76%	-43	-36%	-48	-62%
	65歳以上	108	136	114	6	6%	28	26%	-22	-16%
	75歳以上(再掲)	37	57	67	30	81%	20	54%	10	18%
	85歳以上(再掲)	14	12	18	4	29%	-2	-14%	6	50%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

魚沼医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は34,129人(-17%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は20人(10%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は136人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は32%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

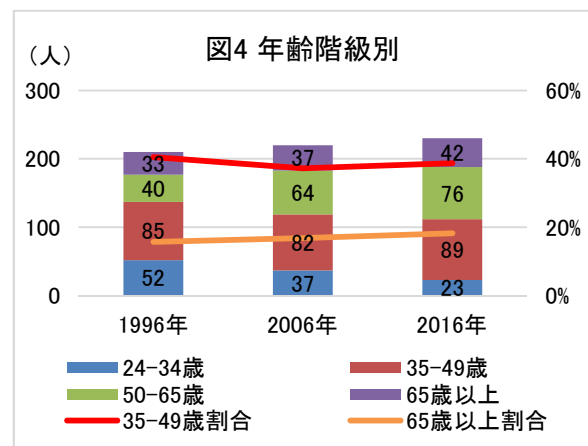
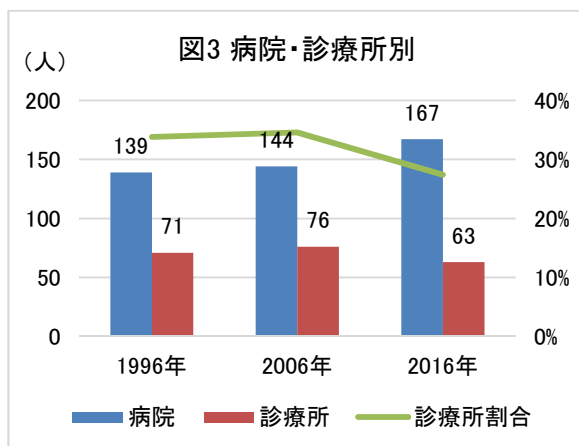
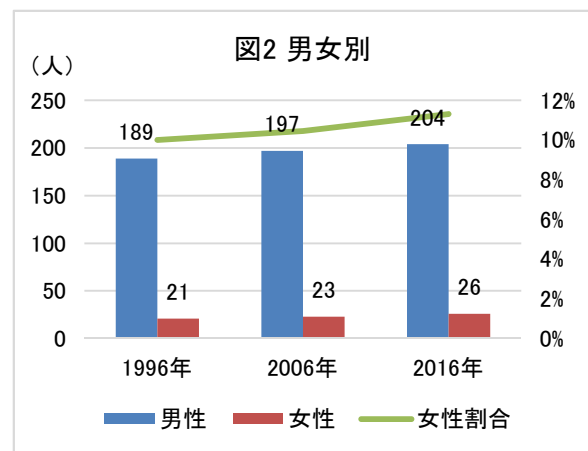
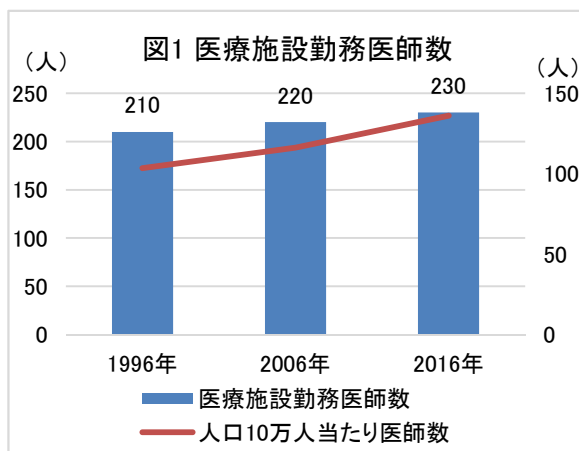
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて15人(8%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に5人(24%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は11%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて28人(20%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に8人(-11%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は27%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は4人(5%)増え、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて9人(27%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年16%、2016年18%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

魚沼医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	203,041	189,374	168,912	-34,129	-17%	-13,667	-7%	-20,462	-11%	
総医師数	218	232	240	22	10%	14	6%	8	3%	
人口10万対	107.4	122.5	142.1	34.7	32%	15.1	14%	19.6	16%	
医療施設勤務医師数	210	220	230	20	10%	10	5%	10	5%	
人口10万対	103.4	116.2	136.2	32.7	32%	12.7	12%	20.0	17%	
男性医師数	189	197	204	15	8%	8	4%	7	4%	
人口10万対	93.1	104.0	120.8	27.7	30%	10.9	12%	16.7	16%	
女性医師数	21	23	26	5	24%	2	10%	3	13%	
人口10万対	10.3	12.1	15.4	5.0	49%	1.8	17%	3.2	27%	
病院勤務医師数	139	144	167	28	20%	5	4%	23	16%	
人口10万対	68.5	76.0	98.9	30.4	44%	7.6	11%	22.8	30%	
診療所勤務医師数	71	76	63	-8	-11%	5	7%	-13	-17%	
人口10万対	35.0	40.1	37.3	2.3	7%	5.2	15%	-2.8	-7%	
医療施設勤務医 平均年齢	46.7	49.9	52.5	5.7	12%	3.2	7%	2.6	5%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	52	37	23	-29	-56%	-15	-29%	-14	-38%
	35-49歳	85	82	89	4	5%	-3	-4%	7	9%
	50-64歳	40	64	76	36	90%	24	60%	12	19%
	65歳以上	33	37	42	9	27%	4	12%	5	14%
	75歳以上(再掲)	10	16	15	5	50%	6	60%	-1	-6%
男性	24-34歳	42	30	17	-25	-60%	-12	-29%	-13	-43%
	35-49歳	79	72	77	-2	-3%	-7	-9%	5	7%
	50-64歳	36	60	72	36	100%	24	67%	12	20%
	65歳以上	32	35	38	6	19%	3	9%	3	9%
	75歳以上(再掲)	10	16	13	3	30%	6	60%	-3	-19%
女性	24-34歳	10	7	6	-4	-40%	-3	-30%	-1	-14%
	35-49歳	6	10	12	6	100%	4	67%	2	20%
	50-64歳	4	4	4	0	0%	0	0%	0	0%
	65歳以上	1	2	4	3	300%	1	100%	2	100%
	75歳以上(再掲)	0	0	2	2		0		2	
病院	24-34歳	52	37	22	-30	-58%	-15	-29%	-15	-41%
	35-49歳	68	69	80	12	18%	1	1%	11	16%
	50-64歳	18	32	52	34	189%	14	78%	20	63%
	65歳以上	1	6	13	12	1200%	5	500%	7	117%
	75歳以上(再掲)	0	0	1	1		0		1	
診療所	24-34歳	0	0	1	1		0		1	
	35-49歳	17	13	9	-8	-47%	-4	-24%	-4	-31%
	50-64歳	22	32	24	2	9%	10	45%	-8	-25%
	65歳以上	32	31	29	-3	-9%	-1	-3%	-2	-6%
	75歳以上(再掲)	10	16	14	4	40%	6	60%	-2	-13%
	85歳以上(再掲)	2	2	4	2	100%	0	0%	2	100%

魚沼医療圏

＜医師数の推移＞

魚沼医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、小児科、外科(総数)、整形外科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、皮膚科、眼科、麻酔科、臨床研修医である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	210	103.4	40	220	116.2	39	230	136.2	38	20	10%	32.7	32%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	92	45.3	41	103	54.4	42	100	59.2	40	8	9%	13.9	31%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	20	9.9	47	13	6.9	40	13	7.7	40	-7	-35%	-2.2	-22%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	17	8.4	51	17	9.0	48	19	11.2	48	2	12%	2.9	34%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	27	13.3	42	21	11.1	40	21	12.4	41	-6	-22%	-0.9	-7%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	2	1.2	43	2		1.2	
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	7	3.4	46	9	4.8	49	9	5.3	48	2	29%	1.9	55%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	19	9.4	42	19	10.0	40	16	9.5	36	-3	-16%	0.1	1%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	2	1.0	37	5	2.6	39	7	4.1	42	5	250%	3.2	321%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	5	2.5	37	10	5.3	39	8	4.7	36	3	60%	2.3	92%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	3	1.5	34	3	1.6	33	4	2.4	34	1	33%	0.9	60%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	2	1.0	36	1	0.5	31	2	1.2	33	0	0%	0.2	20%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	10	4.9	39	8	4.2	37	11	6.5	42	1	10%	1.6	32%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	1	0.5	47	1	0.5	42	1	0.6	41	0	0%	0.1	20%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	0	0.0	39	2	1.1	41	1	0.6	38	1		0.6	
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	2	1.0	41	3	1.6	40	6	3.6	42	4	200%	2.6	261%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	3	1.8	46	3		1.8	
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				2	1.1	38	3	1.8	38	3	50%	0.7	68%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	3	1.5	43	3	1.6	43	4	2.4	41	1	33%	0.9	60%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

魚沼医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は34,759人(-21%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は14人(6%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は182人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は34%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

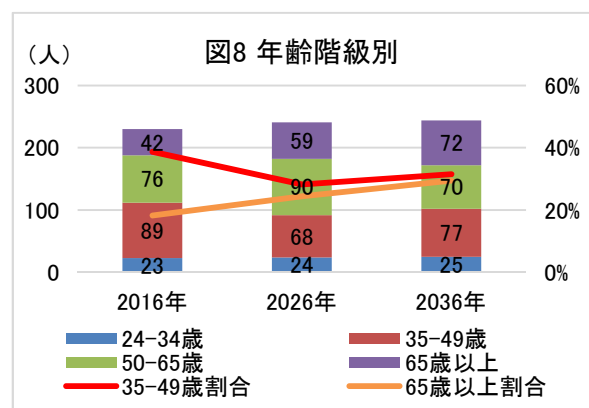
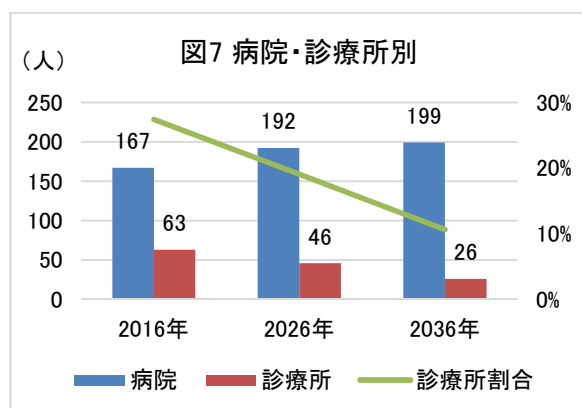
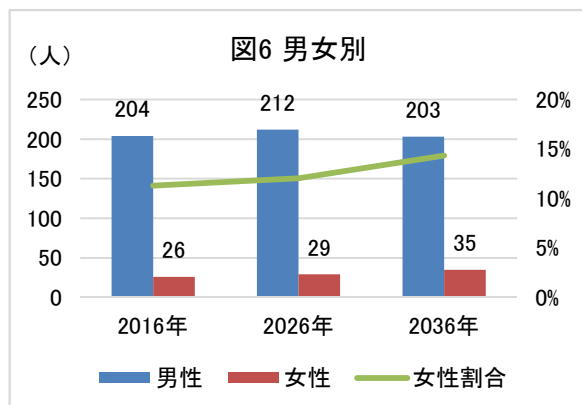
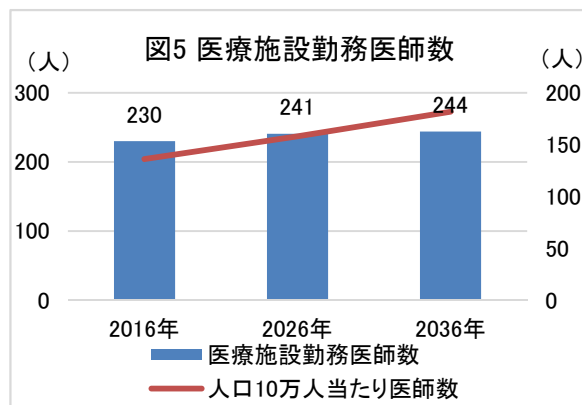
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて1人(0%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に9人(35%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は14%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて32人(19%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に37人(-59%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は11%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は12人(-13%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて30人(71%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年18%、2036年30%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



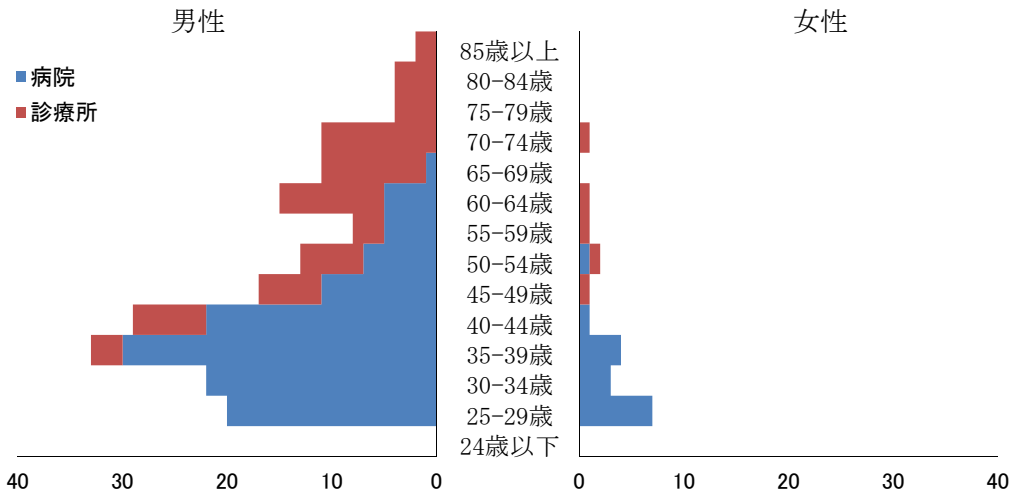
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

魚沼医療圏

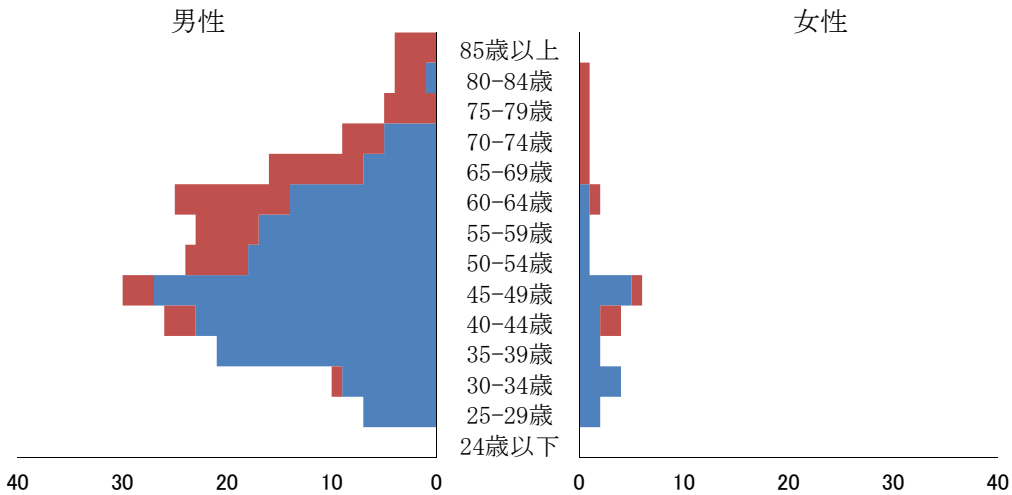
< 医師数ピラミッドの推移 (含推計) >

(単位:人)

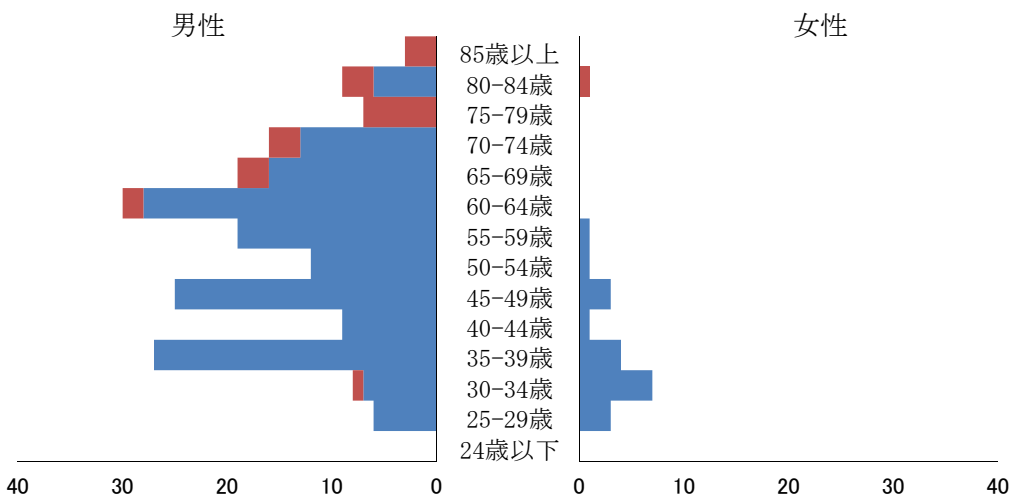
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

魚沼医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	168,912	152,483	134,153	-34,759	-21%	-16,429	-10%	-18,330	-12%	
医療施設勤務医師数	230	241	244	14	6%	11	5%	3	1%	
人口10万対	136.2	158.1	181.9	45.7	34%	21.9	16%	23.8	15%	
男性医師数	204	212	203	-1	0%	8	4%	-9	-4%	
人口10万対	120.8	139.0	151.3	30.5	25%	18.3	15%	12.3	9%	
女性医師数	26	29	35	9	35%	3	12%	6	21%	
人口10万対	15.4	19.0	26.1	10.7	69%	3.6	24%	7.1	37%	
病院勤務医師数	167	192	199	32	19%	25	15%	7	4%	
人口10万対	98.9	125.9	148.3	49.5	50%	27.0	27%	22.4	18%	
診療所勤務医師数	63	46	26	-37	-59%	-17	-27%	-20	-43%	
人口10万対	37.3	30.2	19.4	-17.9	-48%	-7.1	-19%	-10.8	-36%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	23	24	25	2	9%	1	4%	1	4%
	35-49歳	89	68	77	-12	-13%	-21	-24%	9	13%
	50-64歳	76	90	70	-6	-8%	14	18%	-20	-22%
	65歳以上	42	59	72	30	71%	17	40%	13	22%
	75歳以上(再掲)	15	19	27	12	80%	4	27%	8	42%
男性	24-34歳	17	18	14	-3	-18%	1	6%	-4	-22%
	35-49歳	77	59	65	-12	-16%	-18	-23%	6	10%
	50-64歳	72	80	62	-10	-14%	8	11%	-18	-23%
	65歳以上	38	55	62	24	63%	17	45%	7	13%
	75歳以上(再掲)	13	16	23	10	77%	3	23%	7	44%
女性	24-34歳	6	6	9	3	50%	0	0%	3	50%
	35-49歳	12	9	10	-2	-17%	-3	-25%	1	11%
	50-64歳	4	10	7	3	75%	6	150%	-3	-30%
	65歳以上	4	4	9	5	125%	0	0%	5	125%
	75歳以上(再掲)	2	2	2	0	0%	0	0%	0	0%
病院	24-34歳	22	23	24	2	9%	1	5%	1	4%
	35-49歳	80	63	72	-8	-10%	-17	-21%	9	14%
	50-64歳	52	77	63	11	21%	25	48%	-14	-18%
	65歳以上	13	29	40	27	208%	16	123%	11	38%
	75歳以上(再掲)	1	3	6	5	500%	2	200%	3	100%
診療所	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	9	0	0	-9	-100%	-9	-100%	0	
	50-64歳	24	14	4	-20	-83%	-10	-42%	-10	-71%
	65歳以上	29	31	21	-8	-28%	2	7%	-10	-32%
	75歳以上(再掲)	14	16	14	0	0%	2	14%	-2	-13%
	85歳以上(再掲)	4	4	4	0	0%	0	0%	0	0%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

上越医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は33,236人(-11%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は56人(14%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は162人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は28%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

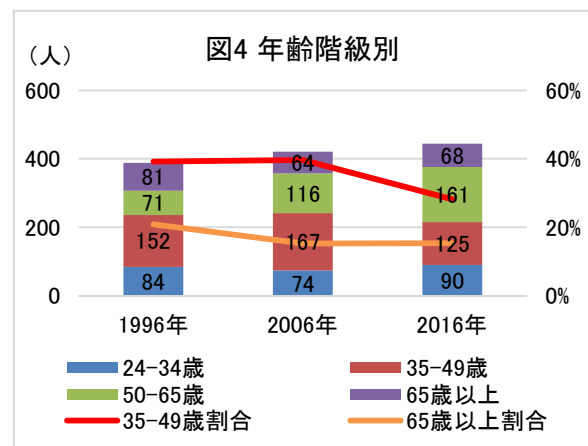
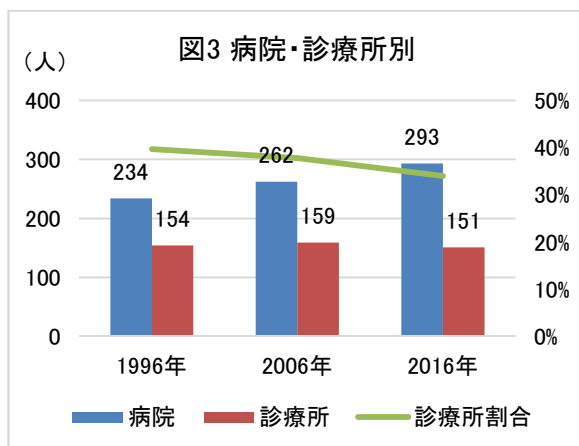
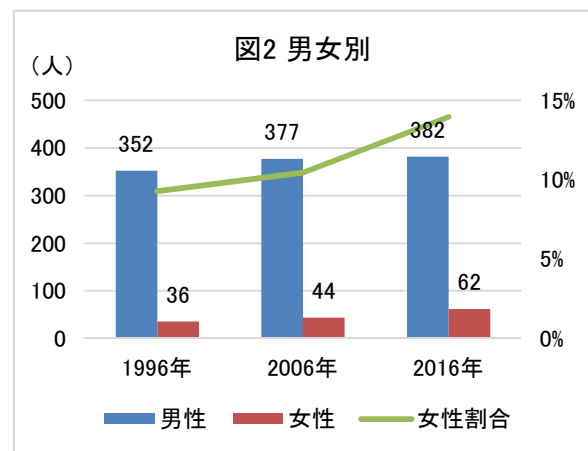
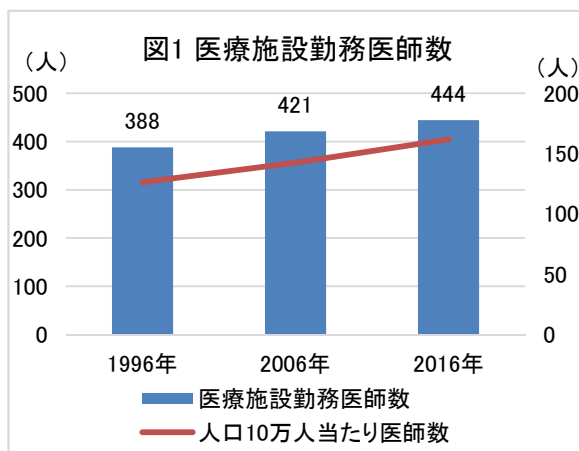
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて30人(9%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に26人(72%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は14%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて59人(25%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に3人(-2%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は34%と、全国平均(34%)と同程度である。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は27人(-18%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて13人(-16%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年21%、2016年15%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

上越医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	307,584	295,757	274,348	-33,236	-11%	-11,827	-4%	-21,409	-7%	
総医師数	404	452	472	68	17%	48	12%	20	4%	
人口10万対	131.3	152.8	172.0	40.7	31%	21.5	16%	19.2	13%	
医療施設勤務医師数	388	421	444	56	14%	33	9%	23	5%	
人口10万対	126.1	142.3	161.8	35.7	28%	16.2	13%	19.5	14%	
男性医師数	352	377	382	30	9%	25	7%	5	1%	
人口10万対	114.4	127.5	139.2	24.8	22%	13.0	11%	11.8	9%	
女性医師数	36	44	62	26	72%	8	22%	18	41%	
人口10万対	11.7	14.9	22.6	10.9	93%	3.2	27%	7.7	52%	
病院勤務医師数	234	262	293	59	25%	28	12%	31	12%	
人口10万対	76.1	88.6	106.8	30.7	40%	12.5	16%	18.2	21%	
診療所勤務医師数	154	159	151	-3	-2%	5	3%	-8	-5%	
人口10万対	50.1	53.8	55.0	5.0	10%	3.7	7%	1.3	2%	
医療施設勤務医 平均年齢	49.0	49.0	49.9	0.9	2%	-0.0	0%	0.9	2%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	84	74	90	6	7%	-10	-12%	16	22%
	35-49歳	152	167	125	-27	-18%	15	10%	-42	-25%
	50-64歳	71	116	161	90	127%	45	63%	45	39%
	65歳以上	81	64	68	-13	-16%	-17	-21%	4	6%
	75歳以上(再掲)	34	27	16	-18	-53%	-7	-21%	-11	-41%
男性	24-34歳	68	58	69	1	1%	-10	-15%	11	19%
	35-49歳	142	150	107	-35	-25%	8	6%	-43	-29%
	50-64歳	69	108	145	76	110%	39	57%	37	34%
	65歳以上	73	61	61	-12	-16%	-12	-16%	0	0%
	75歳以上(再掲)	34	24	14	-20	-59%	-10	-29%	-10	-42%
女性	24-34歳	16	16	21	5	31%	0	0%	5	31%
	35-49歳	10	17	18	8	80%	7	70%	1	6%
	50-64歳	2	8	16	14	700%	6	300%	8	100%
	65歳以上	8	3	7	-1	-13%	-5	-63%	4	133%
	75歳以上(再掲)	0	3	2	2		3		-1	-33%
病院	24-34歳	83	74	90	7	8%	-9	-11%	16	22%
	35-49歳	106	118	104	-2	-2%	12	11%	-14	-12%
	50-64歳	32	47	79	47	147%	15	47%	32	68%
	65歳以上	13	23	20	7	54%	10	77%	-3	-13%
	75歳以上(再掲)	4	7	3	-1	-25%	3	75%	-4	-57%
診療所	24-34歳	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	35-49歳	46	49	21	-25	-54%	3	7%	-28	-57%
	50-64歳	39	69	82	43	110%	30	77%	13	19%
	65歳以上	68	41	48	-20	-29%	-27	-40%	7	17%
	75歳以上(再掲)	30	20	13	-17	-57%	-10	-33%	-7	-35%
	85歳以上(再掲)	4	2	3	-1	-25%	-2	-50%	1	50%

上越医療圏

＜医師数の推移＞

上越医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、小児外科であり、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、麻酔科、救急科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、外科(総数)、眼科、耳鼻咽喉科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、小児外科、心臓血管外科、放射線科、麻酔科、臨床研修医である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	388	126.1	43	421	142.3	42	444	161.8	41	56	14%	35.7	28%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	174	56.6	44	189	63.9	45	171	62.3	41	-3	-2%	5.8	10%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	20	6.5	40	22	7.4	41	23	8.4	41	3	15%	1.9	29%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	19	6.2	45	18	6.1	42	19	6.9	40	0	0%	0.7	12%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	50	16.3	45	45	15.2	46	34	12.4	41	-16	-32%	-3.9	-24%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	1	0.3	48	2	0.7	53	3	1.1	57	2	200%	0.8	236%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	1	0.3	41	1	0.3	40	6	2.2	48	5	500%	1.9	573%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	13	4.2	49	15	5.1	51	14	5.1	47	1	8%	0.9	21%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	25	8.1	40	31	10.5	41	37	13.5	44	12	48%	5.4	66%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	2	0.7	44	3	1.1	44	3		1.1	
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	9	2.9	43	9	3.0	40	9	3.3	39	0	0%	0.4	12%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	19	6.2	45	16	5.4	40	14	5.1	37	-5	-26%	-1.1	-17%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	13	4.2	42	15	5.1	44	12	4.4	41	-1	-8%	0.1	3%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	9	2.9	45	9	3.0	42	10	3.6	42	1	11%	0.7	25%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	18	5.9	41	17	5.7	41	18	6.6	42	0	0%	0.7	12%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	3	1.0	46	1	0.4	40	1		0.4	
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	4	1.3	43	7	2.4	45	10	3.6	46	6	150%	2.3	180%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	3	1.0	41	7	2.4	43	11	4.0	43	8	267%	3.0	311%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	2	0.7	41	2		0.7	
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				9	3.0	40	35	12.8	50	35	289%	9.7	319%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	10	3.3	47	4	1.4	42	12	4.4	45	2	20%	1.1	35%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

上越医療圏

< 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は50,436人(-18%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は99人(22%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は243人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は50%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

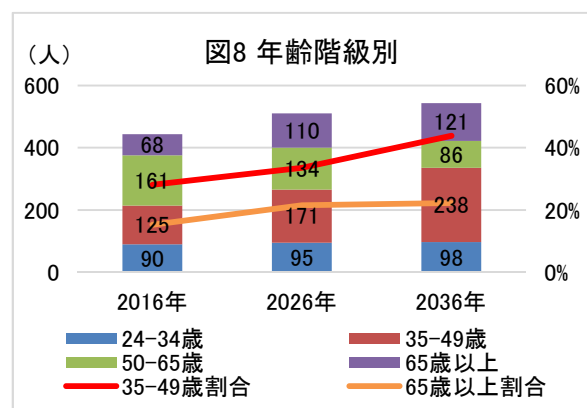
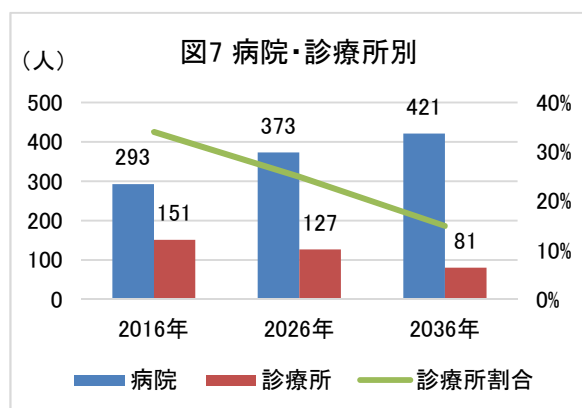
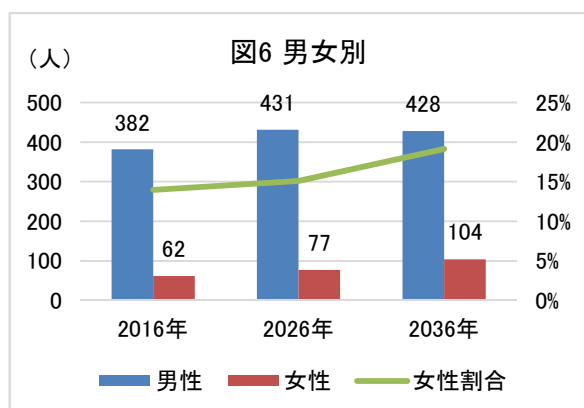
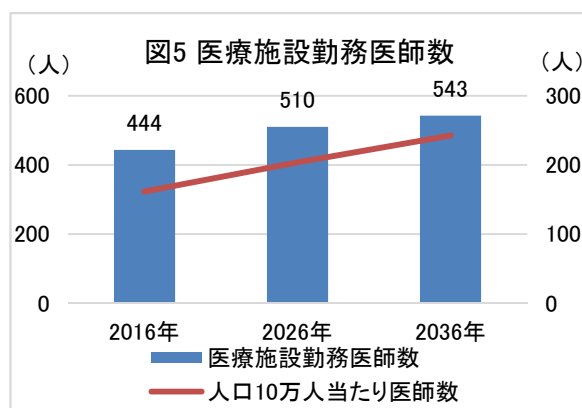
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて46人(12%)増え、全国平均(7%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に42人(68%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は19%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて128人(44%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に70人(-46%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は15%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は113人(90%)増え、全国平均(8%)を上回る増加率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて53人(78%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年15%、2036年22%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



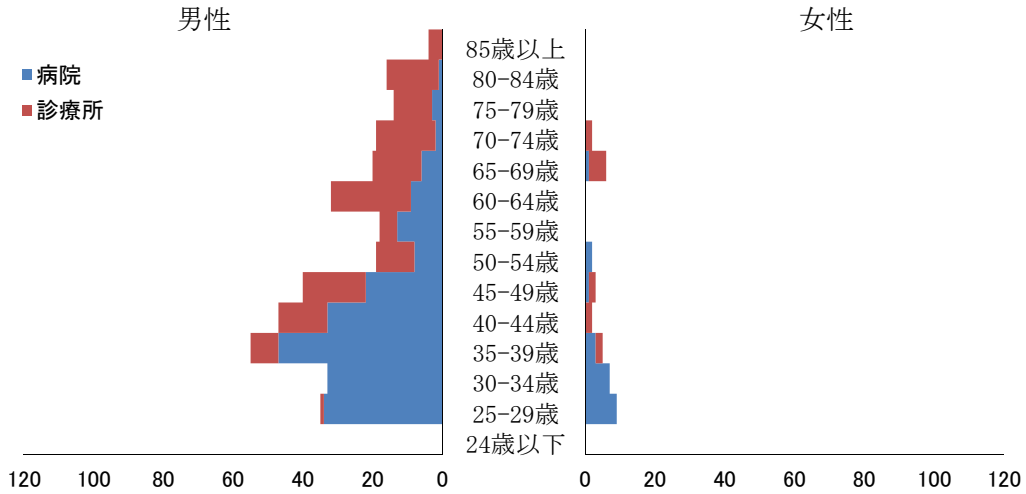
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

上越医療圏

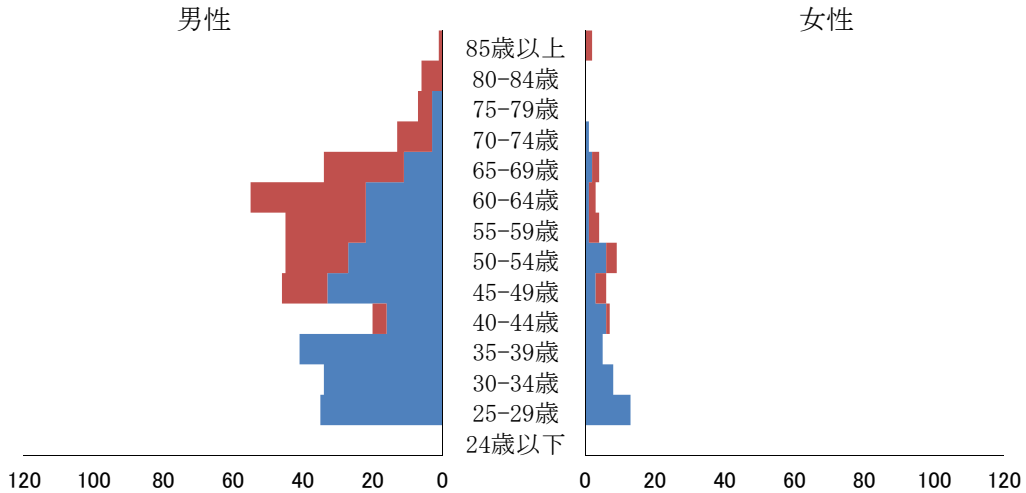
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

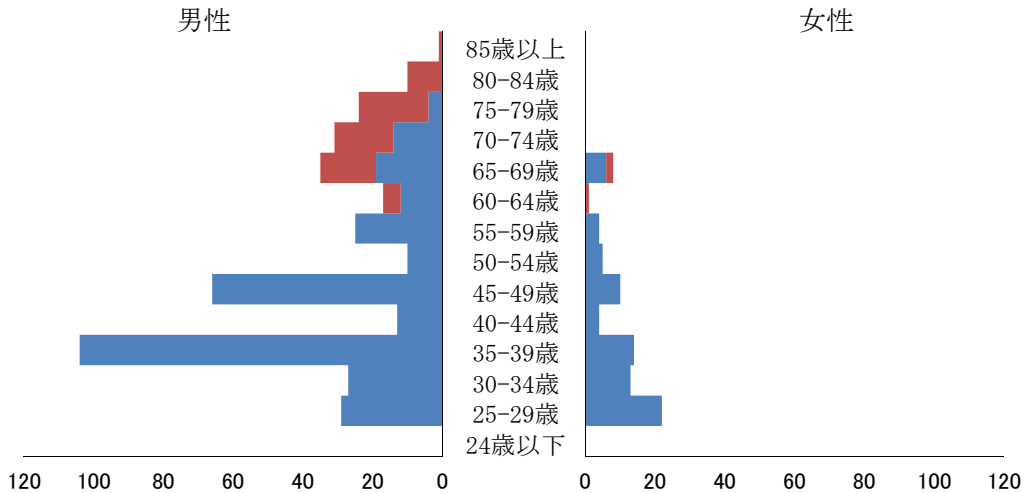
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

上越医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	274,348	250,506	223,912	-50,436	-18%	-23,842	-9%	-26,594	-11%	
医療施設勤務医師数	444	510	543	99	22%	66	15%	33	6%	
人口10万対	161.8	203.6	242.5	80.7	50%	41.7	26%	38.9	19%	
男性医師数	382	431	428	46	12%	49	13%	-3	-1%	
人口10万対	139.2	172.1	191.1	51.9	37%	32.8	24%	19.1	11%	
女性医師数	62	77	104	42	68%	15	24%	27	35%	
人口10万対	22.6	30.7	46.4	23.8	106%	8.1	36%	15.7	51%	
病院勤務医師数	293	373	421	128	44%	80	27%	48	13%	
人口10万対	106.8	148.9	188.0	81.2	76%	42.1	39%	39.1	26%	
診療所勤務医師数	151	127	81	-70	-46%	-24	-16%	-46	-36%	
人口10万対	55.0	50.7	36.2	-18.9	-34%	-4.3	-8%	-14.5	-29%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	90	95	8	9%	5	6%	3	3%	
	35-49歳	125	171	238	113	90%	46	37%	67	39%
	50-64歳	161	134	86	-75	-47%	-27	-17%	-48	-36%
	65歳以上	68	110	121	53	78%	42	62%	11	10%
	75歳以上(再掲)	16	23	33	17	106%	7	44%	10	43%
男性	24-34歳	69	73	56	-13	-19%	4	6%	-17	-23%
	35-49歳	107	146	200	93	87%	39	36%	54	37%
	50-64歳	145	112	67	-78	-54%	-33	-23%	-45	-40%
	65歳以上	61	100	105	44	72%	39	64%	5	5%
	75歳以上(再掲)	14	20	30	16	114%	6	43%	10	50%
女性	24-34歳	21	22	34	13	62%	1	5%	12	55%
	35-49歳	18	24	35	17	94%	6	33%	11	46%
	50-64歳	16	23	21	5	31%	7	44%	-2	-9%
	65歳以上	7	8	14	7	100%	1	14%	6	75%
	75歳以上(再掲)	2	1	0	-2	-100%	-1	-50%	-1	-100%
病院	24-34歳	90	95	98	8	9%	5	6%	3	3%
	35-49歳	104	159	214	110	106%	55	53%	55	35%
	50-64歳	79	85	61	-18	-23%	6	8%	-24	-28%
	65歳以上	20	34	48	28	140%	14	70%	14	41%
	75歳以上(再掲)	3	4	5	2	67%	1	33%	1	25%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	21	0	0	-21	-100%	-21	-100%	0	
	50-64歳	82	45	7	-75	-91%	-37	-45%	-38	-84%
	65歳以上	48	82	74	26	54%	34	71%	-8	-10%
	75歳以上(再掲)	13	26	37	24	185%	13	100%	11	42%
	85歳以上(再掲)	3	2	4	1	33%	-1	-33%	2	100%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

佐渡医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は17,694人(-24%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は5人(6%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は147人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は39%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

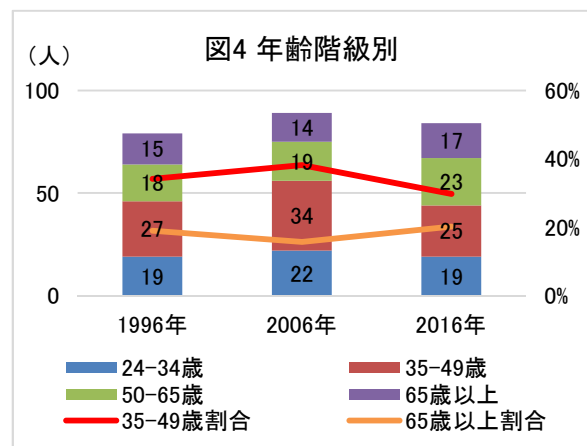
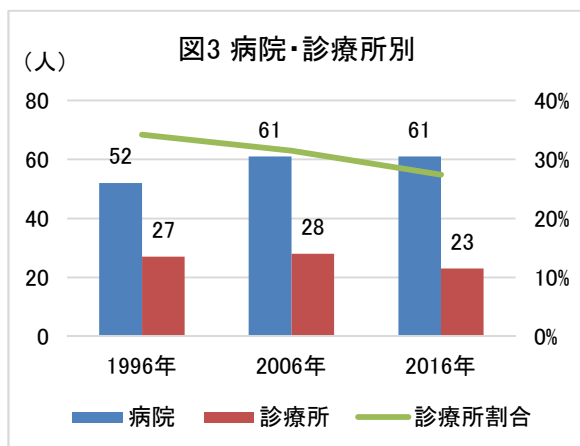
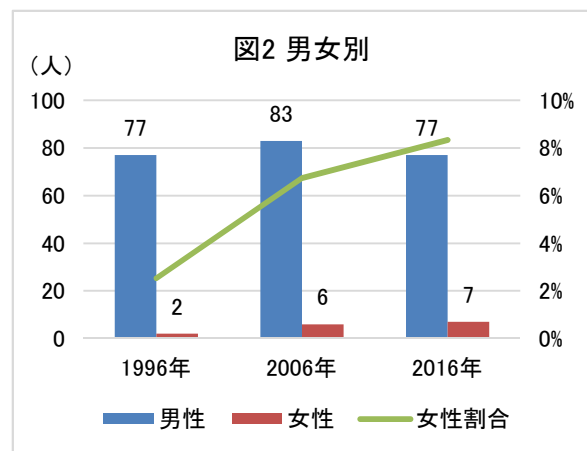
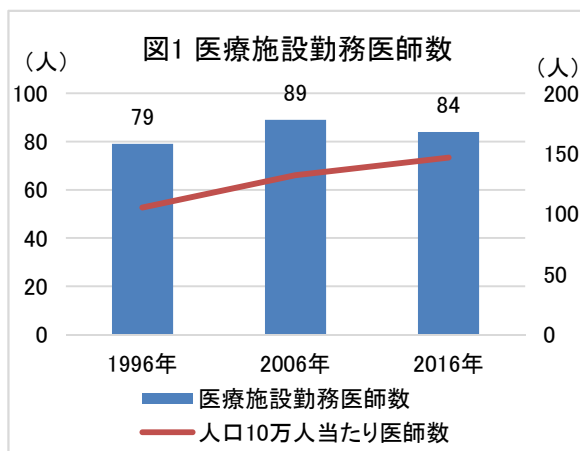
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて増減がなく、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に5人(250%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は8%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて9人(17%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に4人(-15%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は27%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は2人(-7%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて2人(13%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年19%、2016年20%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

佐渡医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	74,949	67,386	57,255	-17,694	-24%	-7,563	-10%	-10,131	-15%	
総医師数	84	95	92	8	10%	11	13%	-3	-3%	
人口10万対	112.1	141.0	160.7	48.6	43%	28.9	26%	19.7	14%	
医療施設勤務医師数	79	89	84	5	6%	10	13%	-5	-6%	
人口10万対	105.4	132.1	146.7	41.3	39%	26.7	25%	14.6	11%	
男性医師数	77	83	77	0	0%	6	8%	-6	-7%	
人口10万対	102.7	123.2	134.5	31.7	31%	20.4	20%	11.3	9%	
女性医師数	2	6	7	5	250%	4	200%	1	17%	
人口10万対	2.7	8.9	12.2	9.6	358%	6.2	234%	3.3	37%	
病院勤務医師数	52	61	61	9	17%	9	17%	0	0%	
人口10万対	69.4	90.5	106.5	37.2	54%	21.1	30%	16.0	18%	
診療所勤務医師数	27	28	23	-4	-15%	1	4%	-5	-18%	
人口10万対	36.0	41.6	40.2	4.1	12%	5.5	15%	-1.4	-3%	
医療施設勤務医 平均年齢	48.5	48.4	49.0	0.5	1%	-0.1	0%	0.6	1%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	19	22	19	0	0%	3	16%	-3	-14%
	35-49歳	27	34	25	-2	-7%	7	26%	-9	-26%
	50-64歳	18	19	23	5	28%	1	6%	4	21%
	65歳以上	15	14	17	2	13%	-1	-7%	3	21%
	75歳以上(再掲)	6	7	4	-2	-33%	1	17%	-3	-43%
男性	24-34歳	19	19	17	-2	-11%	0	0%	-2	-11%
	35-49歳	26	31	22	-4	-15%	5	19%	-9	-29%
	50-64歳	18	19	21	3	17%	1	6%	2	11%
	65歳以上	14	14	17	3	21%	0	0%	3	21%
	75歳以上(再掲)	5	7	4	-1	-20%	2	40%	-3	-43%
女性	24-34歳	0	3	2	2		3		-1	-33%
	35-49歳	1	3	3	2	200%	2	200%	0	0%
	50-64歳	0	0	2	2		0		2	
	65歳以上	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	75歳以上(再掲)	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
病院	24-34歳	19	22	19	0	0%	3	16%	-3	-14%
	35-49歳	22	27	20	-2	-9%	5	23%	-7	-26%
	50-64歳	10	9	16	6	60%	-1	-10%	7	78%
	65歳以上	1	3	6	5	500%	2	200%	3	100%
	75歳以上(再掲)	1	0	1	0	0%	-1	-100%	1	
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	5	7	5	0	0%	2	40%	-2	-29%
	50-64歳	8	10	7	-1	-13%	2	25%	-3	-30%
	65歳以上	14	11	11	-3	-21%	-3	-21%	0	0%
	75歳以上(再掲)	5	7	3	-2	-40%	2	40%	-4	-57%
	85歳以上(再掲)	1	2	0	-1	-100%	1	100%	-2	-100%

佐渡医療圏

＜医師数の推移＞

佐渡医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、放射線科、麻酔科、救急科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、外科(総数)、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、脳神経外科、臨床研修医である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	79	105.4	40	89	132.1	41	84	146.7	40	5	6%	41.3	39%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	45	60.0	45	49	72.7	48	39	68.1	43	-6	-13%	8.1	13%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	3	4.0	35	4	5.9	37	4	7.0	38	1	33%	3.0	75%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	2	2.7	37	3	4.5	38	5	8.7	43	3	150%	6.1	227%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	6	8.0	36	7	10.4	39	4	7.0	34	-2	-33%	-1.0	-13%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0.0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0	0.0	0.0
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	2	2.7	43	2	3.0	42	3	5.2	48	1	50%	2.6	96%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	6	8.0	40	5	7.4	35	8	14.0	45	2	33%	6.0	75%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0	0.0	0.0
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	2	2.7	42	2	3.0	40	2	3.5	40	0	0%	0.8	31%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	4	5.3	43	5	7.4	45	4	7.0	42	0	0%	1.6	31%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	2	2.7	38	2	3.0	37	2	3.5	38	0	0%	0.8	31%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	1	1.3	38	2	3.0	42	1	1.7	35	0	0%	0.4	31%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	5	6.7	43	3	4.5	38	3	5.2	39	-2	-40%	-1.4	-21%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	1	1.5	50	1	1.7	49	1	1	1.7	1.7
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	0	0.0	39	1	1.5	42	0	0.0	36	0	0	0.0	0.0
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0.0	34	0	0	0.0	0.0
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0	0.0	0.0
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				3	4.5	42	7	12.2	49	7	133%	7.8	175%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	1	1.3	43	0	0.0	40	1	1.7	40	0	0%	0.4	31%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

佐渡医療圏

< 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は16,558人(-29%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は2人(-2%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は201人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は37%増え、その伸び率は全国平均(37%)と同程度である。

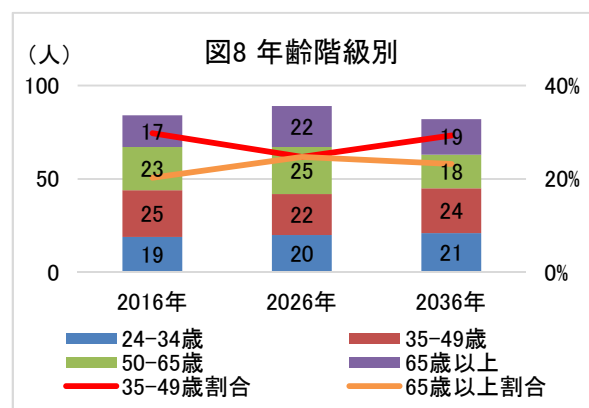
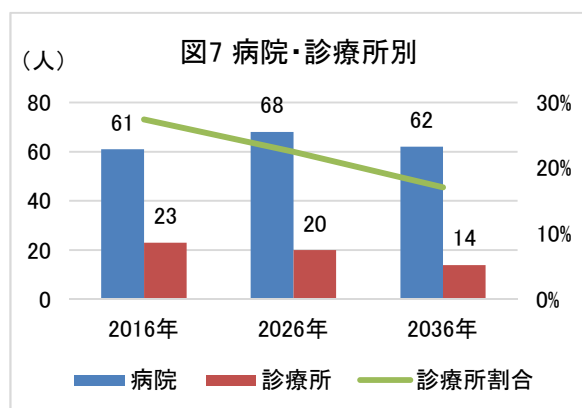
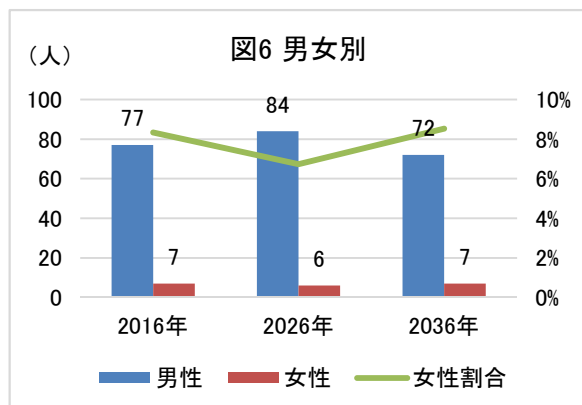
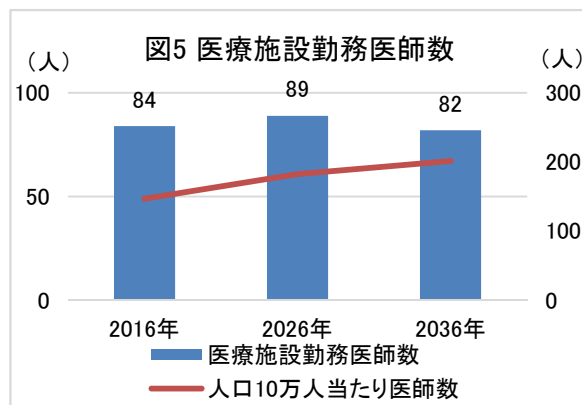
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて5人(-6%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に増減がなく、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は9%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて1人(2%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に9人(-39%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は17%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は1人(-4%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて2人(12%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年20%、2036年23%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



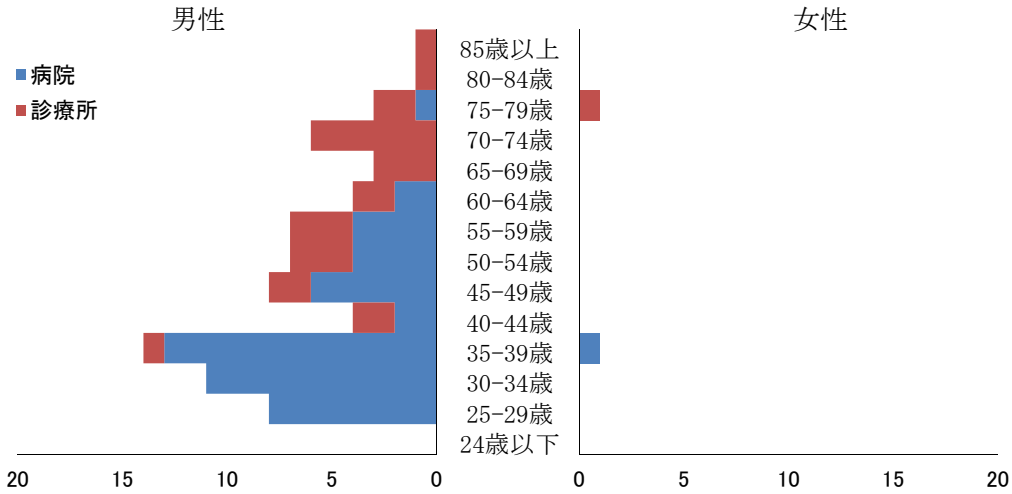
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

佐渡医療圏

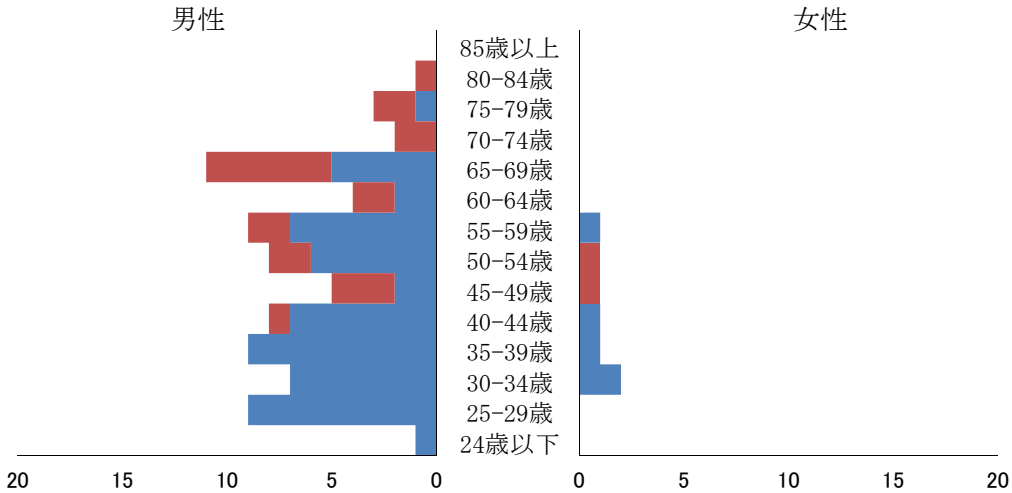
< 医師数ピラミッドの推移 (含推計) >

(単位:人)

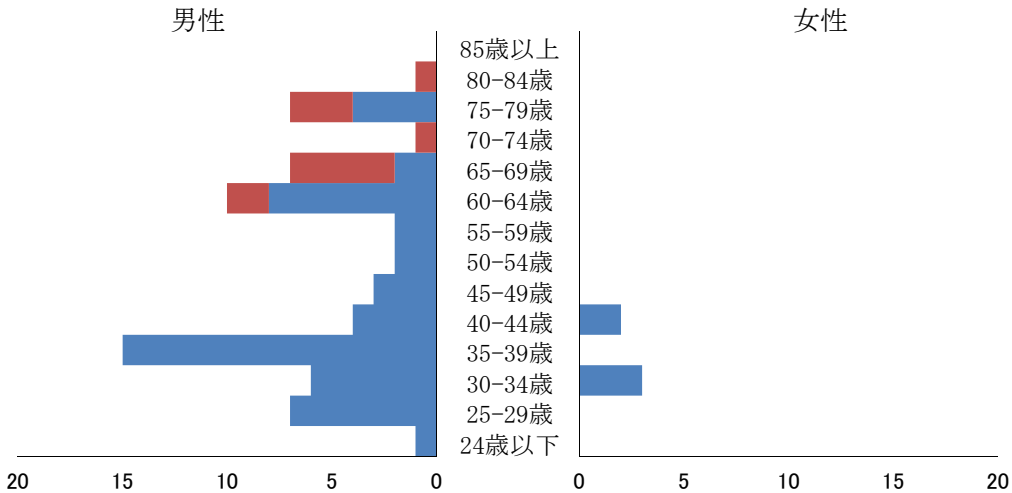
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

佐渡医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	57,255	48,777	40,697	-16,558	-29%	-8,478	-15%	-8,080	-17%	
医療施設勤務医師数	84	89	82	-2	-2%	5	6%	-7	-8%	
人口10万対	146.7	182.5	201.5	54.8	37%	35.8	24%	19.0	10%	
男性医師数	77	84	72	-5	-6%	7	9%	-12	-14%	
人口10万対	134.5	172.2	176.9	42.4	32%	37.7	28%	4.7	3%	
女性医師数	7	6	7	0	0%	-1	-14%	1	17%	
人口10万対	12.2	12.3	17.2	5.0	41%	0.1	1%	4.9	40%	
病院勤務医師数	61	68	62	1	2%	7	11%	-6	-9%	
人口10万対	106.5	139.4	152.3	45.8	43%	32.9	31%	12.9	9%	
診療所勤務医師数	23	20	14	-9	-39%	-3	-13%	-6	-30%	
人口10万対	40.2	41.0	34.4	-5.8	-14%	0.8	2%	-6.6	-16%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	19	20	21	2	11%	1	5%	1	5%
	35-49歳	25	22	24	-1	-4%	-3	-12%	2	9%
	50-64歳	23	25	18	-5	-22%	2	9%	-7	-28%
	65歳以上	17	22	19	2	12%	5	29%	-3	-14%
	75歳以上(再掲)	4	9	9	5	125%	5	125%	0	0%
男性	24-34歳	17	18	14	-3	-18%	1	6%	-4	-22%
	35-49歳	22	23	26	4	18%	1	5%	3	13%
	50-64歳	21	22	15	-6	-29%	1	5%	-7	-32%
	65歳以上	17	21	17	0	0%	4	24%	-4	-19%
	75歳以上(再掲)	4	9	8	4	100%	5	125%	-1	-11%
女性	24-34歳	2	2	3	1	50%	0	0%	1	50%
	35-49歳	3	3	2	-1	-33%	0	0%	-1	-33%
	50-64歳	2	1	2	0	0%	-1	-50%	1	100%
	65歳以上	0	0	0	0		0		0	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	19	20	21	2	11%	1	5%	1	5%
	35-49歳	20	18	20	0	0%	-2	-10%	2	11%
	50-64歳	16	19	15	-1	-6%	3	19%	-4	-21%
	65歳以上	6	11	6	0	0%	5	83%	-5	-45%
	75歳以上(再掲)	1	3	4	3	300%	2	200%	1	33%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	5	0	0	-5	-100%	-5	-100%	0	
	50-64歳	7	9	2	-5	-71%	2	29%	-7	-78%
	65歳以上	11	11	12	1	9%	0	0%	1	9%
	75歳以上(再掲)	3	7	4	1	33%	4	133%	-3	-43%
	85歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)